

佐賀県競技力向上推進本部

第12回本部会議



**SAGA
2024**
国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

令和3年3月25日（木）10：30～
佐賀県庁11階 大会議室

報告事項

- (1) 役員の変更について P 2 ~ P 3
- (2) 専決事項（令和2年度補正収支予算）について P 4
- (3) 佐賀県競技力向上推進本部会議等の開催状況について P 5
- (4) 第14回及び第15回国スポ選手強化対策委員会について . . . P 6 ~ P 7
- (5) 第11回及び第12回障害者スポーツ普及委員会について . . . P 8 ~ P 9
- (6) 第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会の
1年延期について P 10 ~ P 13
- (7) 第76回国民体育大会冬季大会について P 14 ~ P 17

報告事項(1)

役員の変更

選出区分	所属機関・団体・役職名	新	旧
体育・スポーツ関係	(公財)佐賀県スポーツ協会 常務理事	川崎 真澄	副島 良彦

佐賀県競技力向上推進本部 役員・委員名簿

R2.12.1現在

本部長：1名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県関係	小林 万里子	佐賀県副知事

副本部長：3名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県関係	田中 裕之	佐賀県文化・スポーツ交流局 局長
2		落合 裕二	佐賀県教育委員会 教育長
3	体育・スポーツ関係	川崎 真澄	(公財) 佐賀県スポーツ協会 常務理事

委員：17名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県議会関係	中村 圭一	佐賀県議会地域交流・県土整備常任委員会 委員
2	市町関係	秀島 敏行	佐賀県市長会 会長
3		末安 伸之	佐賀県町村会 会長
4	産業・経済関係	陣内 芳博	佐賀県商工会議所連合会 会長
5		峰 英太郎	佐賀県商工会連合会 会長
6		戸上 信一	佐賀県経営者協会 会長
7	学校関係	中島 慎一	佐賀県高等学校体育連盟 会長
8		島 一満	佐賀県中学校体育連盟 会長
9		江口 浩文	佐賀県小学校校長会 会長
10	学識経験者	池上 寿伸	佐賀大学 教授
11	体育・スポーツ関係	森田 久代	ロサンゼルスオリンピック日本選手団 選手
12		大田 芳洋	(公財) 佐賀県スポーツ協会 監事
13		龍 富貴夫	(公財) 佐賀県スポーツ協会競技力向上委員会 委員長
14	障害者スポーツ関係	末次 康裕	(一社) 佐賀県障がい者スポーツ協会 会長
15		土井 志穂	佐賀県障害者スポーツ指導者協議会 会長
16	県関係	大川内 直人	佐賀県健康福祉部 部長
17		大川内 明子	佐賀県会計管理者

報告事項(2)

専決事項(令和2年度補正収支予算)

1 収入

(単位:千円)

科目	現計予算額	補正額	補正後予算額	備考
負担金	425,712	△ 90,845	334,867	佐賀県負担金
繰越金	28,263	0	28,263	R1繰越金
雑収入	2	0	2	利息収入等
計	453,977	△ 90,845	363,132	

2 支出

(単位:千円)

大科目	小科目	事業名	現計予算額	補正額	補正後予算額		
国民体育大会	事業費		445,606	△ 90,845	354,761		
			440,186	△ 89,376	350,810		
		選手強化	選手育成事業	231,454	△ 35,208	196,246	
			運動部活動等設立支援事業	5,400	△ 2,400	3,000	
			選手支援事業(奨学金)	22,680	△ 2,066	20,614	
			強化指定選手認定事業	6,547	△ 3,168	3,379	
			(新規)ジュニア・アスリート支援事業	23,200	△ 2,200	21,000	
			ターゲットエイジ選手発掘事業	1,050	0	1,050	
			トライアウト開催事業	3,535	△ 3,535	0	
			強化拠点校支援事業	36,400	△ 4,284	32,116	
			強化拠点地域支援事業	13,200	△ 20	13,180	
			強化企業チーム支援事業	4,500	0	4,500	
			佐賀県中学校校体育連盟支援事業	8,000	△ 2,000	6,000	
		指導者養成	指導者招聘事業	24,298	△ 8,411	15,887	
			指導者研修事業	12,444	△ 9,151	3,293	
			(新規)強化指定コーチ・トップコーチ認定事業		0	0	
			スポーツアドバイザー配置事業	7,016	△ 3,487	3,529	
		※ナトレ成等!	スタッフ育成事業	2,422	△ 1,864	558	
		整備環境	競技用具等購入事業	38,040	△ 11,582	26,458	
		事務局費		5,420	△ 1,469	3,951	
全国障害者スポーツ大会	事業費		8,371	0	8,371		
			7,676	0	7,676		
		選手育成	団体競技選手発掘・育成事業	1,078	△ 314	764	
			個人競技選手発掘・育成事業	1,229	△ 688	541	
			団体・個人競技チーム活動支援事業	1,958	△ 454	1,504	
			団体競技チーム競技力向上事業	1,509	△ 659	850	
			育成指定選手の認定事業	979	△ 21	958	
			広報活動事業	420	2,397	2,817	
		※指導者養成	指導者養成事業	340	△ 200	140	
		整備環境	団体競技普及事業	163	△ 61	102	
			事務局費		695	0	695
		計		453,977	△ 90,845	363,132	

佐賀県競技力向上推進本部 会議等開催状況

年度	月・日	内 容
R2	7月3日	佐賀県競技力向上推進本部「第11回本部会議」を開催
	8月19日	佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会「第11回専門委員会」を開催
	10月29日	「第14回国スポ選手強化対策委員会」を開催
	11月上旬	ジュニア・アスリート支援事業(新規)、佐賀県強化指定コーチ・トップコーチ認定事業(新規)及び令和2年度補正収支予算について書面評決
	11月9日	「第11回障害者スポーツ普及委員会」を開催
	1月27日	佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会「第12回専門委員会」を開催
	2月上旬	「第15回国スポ選手強化対策委員会」を書面開催
	2月中旬	「第12回障害者スポーツ普及委員会」を書面開催
	3月25日	佐賀県競技力向上推進本部「第12回本部会議」を開催

報告事項（４）

第 14 回 (R2. 10. 29) 国スポ選手強化対策委員会 概要

○協議事項

（１）ジュニア・アスリート支援事業（案）について

・支援金の使い方について、競技団体等で一括した取扱いができるのかとの質問あり。

個人への支援のため競技団体等で一括した取扱いはできない旨、事務局より回答。

（２）佐賀県強化指定コーチ・トップコーチ認定事業（案）について

・選定対象となる指導者は県内の指導者限定か、あるいは県外から招聘する指導者も含まれるのかとの質問あり。

対象は佐賀県で強化活動をされている指導者である旨、事務局より回答。

（３）令和 2 年度補正収支予算（案）について

・特に意見等なし。

（４）佐賀国スポ選手育成事業費補助金の算定基準の見直し（案）について

・実績ベースで補助金が出ていた団体は、今後補助金が少なくなるのではないかとの意見あり。

実施しようとする事業内容と参加人員などをしっかり検討することで、効果的な強化事業を実施することができ、その事業計画をもとに予算を算定・精査し補助金を交付するという考えである旨、事務局より回答。

（５）令和 3 年度事業計画（案）について

・需用費の割合が全体の 25%程度でという指導があったが、中体連支援事業において今後強化を図るうえで、消耗品等の購入が必要になることもあるので、そのパーセンテージを上げてもらいたいとの要望あり。

競技の特性により団体と協議のうえ 25%を超えて補助を認めている旨、事務局より回答。

第 15 回国スポ選手強化対策委員会（書面開催） 概要

○協議事項

（１）令和 2 年度佐賀県強化拠点校の設置（案）について

・レスリング競技の鹿島高校について、専門の教員が不在のため、来年度専門家の配置をお願いしたいとの要望あり。

推進本部から県教育委員会に同内容の要望を行っている旨、事務局より回答。

（２）令和 2 年度佐賀県強化拠点地域の設置（案）について

→ 意見等なし

(3) 第78回国民スポーツ大会佐賀県競技力向上基本計画の改正(案)について

→ 意見等なし

(4) 各種事業実施要領の改正(案)について

→ 意見等なし

(5) 令和3年度佐賀県強化指定コーチ・トップコーチの認定(案)について

・トップコーチの認定にあたって、基準等が明確にされていない。選定を行ったのは誰なのかも明確にすべきなどの意見あり。

トップコーチの選定方法については、実施要領に基づき、競技団体から推薦された強化指定コーチの中から、特に優れた指導実績を有する者で、選手強化全般を統括する指導者を選定している。具体的には事務局において直近の全国大会の入賞実績を基準に該当者を抽出し、競技団体と協議のうえ選定している旨、事務局より回答。

(6) 令和3年度事業計画(案)について

・佐賀県中学校体育連盟支援事業について、R3年度予算が減額となっている理由を教えてくださいとの要望あり。

佐賀県「運動部活動の在り方に関する方針」に基づき部活動の時間が制限されるとともに、教職員の働き方改革も進められ、事業による強化が困難な状況となっているため、今年度より中学生選手の強化については、各競技団体による選手を選抜しての強化に移行している旨、事務局より回答。

第 11 回(R2. 11. 6)障害者スポーツ普及委員会 概要

○協議事項

(1) 令和3年度事業計画(案)についての意見

- ・新規事業である育成指定選手事業の競技力向上を図る為の練習会について、通常のチーム活動の中での練習会との違いは何かとの質問あり。
通常のチーム練習会が、体験教室等で新しく競技を始められた方々の受入れの場であることに対し、育成指定選手の練習会は、対象を絞りSAGA2024を目指し競技力を向上させるための練習会を想定している旨、事務局から回答。
- ・体験教室や強化練習会などが増えていくことになるが、指導者の数は足りているのかとの質問あり。
県や協会等関係機関が情報を共有しながら、指導員を確保していく必要がある旨、事務局より回答。
- ・バレーボール(身体:聴覚)のチーム結成に向けて、学校や関係機関に呼びかけ、選手の発掘が必要である旨確認した。

(2) その他の意見

- ・体験教室やチーム活動について、送迎が保護者の負担になるなど、練習会に行きたくても参加できない選手がある。また、練習会等に遠方から参加している選手にとっては交通費が負担となっているケースもあり、補助等検討できないかとの意見あり。
個別の支援は難しい問題であるため、今後の検討事項として整理する旨、事務局より回答。

第 12 回障害者スポーツ普及委員会(書面開催) 概要

○協議事項

(1) 令和3年度事業計画(案)についての意見

- ・選手の発掘・育成に力を入れ、育成指定選手を増やす計画となっているが、そうならば、必ずしも全員が大会に出場できるわけではなく、代表選手選考の際に、誰もが納得できるより明確な基準が必要になるのではとの意見あり。
大会の主旨を理解の上、適切な選考となるように各競技団体と意識を共有する旨、事務局より回答。
- ・現在の体験教室参加者は、特別支援学校の生徒及び卒業生が中心だが、就労施設の方々等へも呼び掛けてみてはどうかとの意見あり。
現在も教室の案内をしているが、就労施設の特質上、新型コロナウイルス感染症対策のため今年度は特に外部との接触を控えられているケースが多く、参加に結びついていない状況。今後の状況を見ながら、更に声掛けをしていく旨、事務局より回答。

- ・障害者スポーツ環境整備事業において、特別支援学校における競技用具の整備が進んでいるが、教育現場での活用を継続することで、今後の選手発掘や、障害者スポーツの普及につながることを期待するとの意見あり。
今後も、体育職員と連携し、用具の活用による普及活動の継続と、競技を継続したい生徒を体験教室や練習会への参加につなげていく旨、事務局より回答。

令和2年9月25日
公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
文部科学省・スポーツ庁
鹿児島県

鹿児島県における国民体育大会本大会及び全国障害者スポーツ大会
の取扱いについて

延期開催することとした鹿児島県における国民体育大会本大会及び
全国障害者スポーツ大会は、令和5（2023）年に開催することとする。

資料2

令和2年9月25日
公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
文部科学省・スポーツ庁

鹿児島県における国民体育大会本大会及び全国障害者スポーツ大会
の延期に伴う後催県の取扱いについて

関係県との調整を踏まえ、令和5（2023）年、令和6（2024）年に開催が内定していた佐賀県及び滋賀県における国民スポーツ大会本大会及び全国障害者スポーツ大会については、それぞれ令和6（2024）年、令和7（2025）年に開催することとし、以降の開催県についても1年順送りを基本として開催時期を定めることとする。

(写)

第 2 回 JSP0 国体発第 99 号
2 ス 庁 第 3 8 6 号

国民スポーツ大会開催決定書

佐賀県知事 山口 祥 義 様

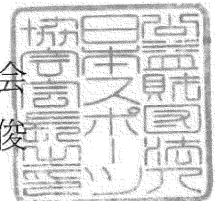
佐賀県教育委員会
教育長 落 合 裕 二 様

公益財団法人 佐賀県スポーツ協会
会 長 山 口 祥 義 様

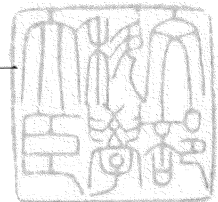
令和 6 年開催の第 78 回国民スポーツ大会の開催地として貴県を
決定いたします。

令和 2 年 10 月 8 日

公益財団法人 日本スポーツ協会
会 長 伊 藤 雅 俊



文部科学大臣 萩 生 田 光 一



「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」 15 大会開催地の内定及び決定（抜粋）

大会の開催については、国民体育大会開催基準要項に規定する国民体育大会の開催地の内定及び決定の時をもって、それぞれの内定及び決定をしたものとみなす。

※公益財団法人日本スポーツ協会
令和2年度第3回臨時理事会資料より

国民体育大会（国民スポーツ大会）の開催地（案）

【現行】

大会			本大会
開催年	回	地区	
2020(R2)	75	西	鹿児島県 (延期)
2021(R3)	76	中	三重県
2022(R4)	77	東	栃木県
国民スポーツ大会			
2023(R5)	78	西	佐賀県
2024(R6)	79	中	滋賀県
2025(R7)	80	東	青森県 (冬季大会含む)



【変更案】

大会			本大会
開催年	回	地区	
2020(R2)	75		開催しない
2021(R3)	76	中	三重県
2022(R4)	77	東	栃木県
2023(R5)	特別	西	鹿児島県
国民スポーツ大会			
2024(R6)	78	西	佐賀県
2025(R7)	79	中	滋賀県
2026(R8)	80	東	青森県 (冬季大会含む)

全国障害者スポーツ大会は、国民体育大会（国民スポーツ大会）開催地において開催することとなっているため、特段の通知なし。国民体育大会（国民スポーツ大会）応用、2023（R5）の鹿児島大会を特別会とすることで、2024年の佐賀大会の開催回数は、第23回で変更しないことを確認しております。

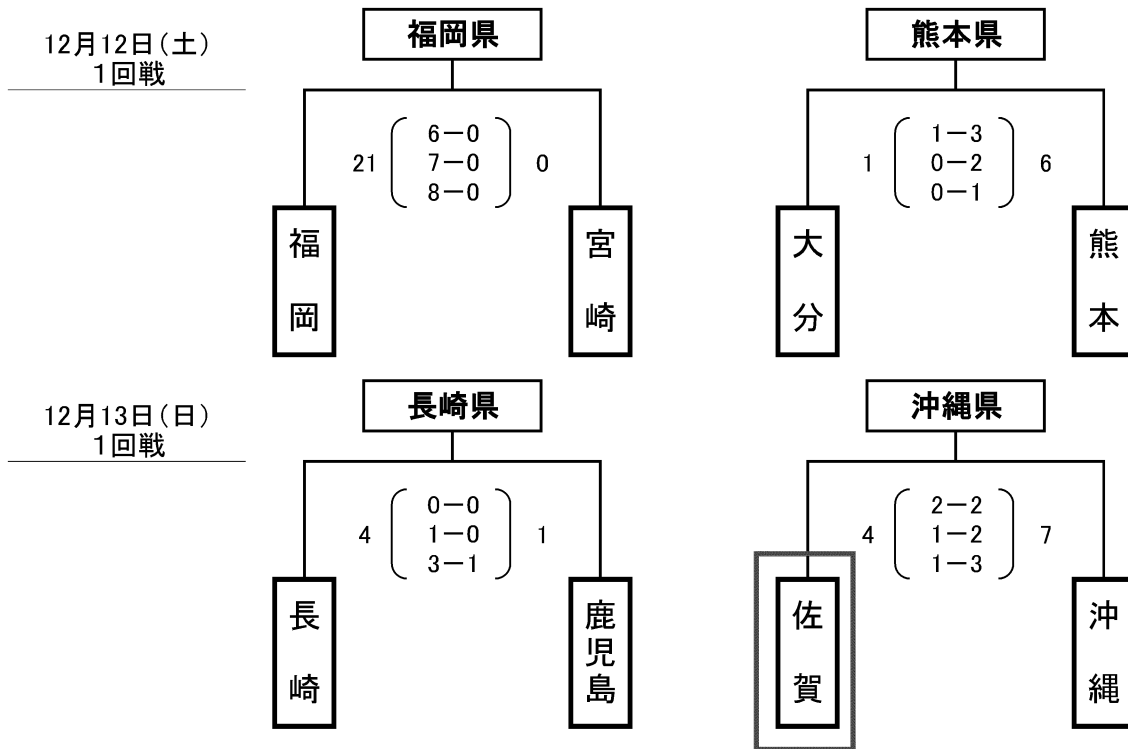
①アイスホッケー競技

【成年男子】

代表権数：4

代表権獲得県

福岡県	熊本県	長崎県	沖縄県
-----	-----	-----	-----



* 第3ピリオド終了時点の場合、3人によるペナルティショットシュートアウトで決定する。更に、同点の場合はサドンビクトリーにより勝敗を決定する。

【少年男子】

代表権獲得県

福岡県

第3代表決定戦出場県

沖縄県

県名	福岡	熊本	沖縄	勝ち点	順位
福岡	-	12/12 8:30 9 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 6-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0	12/13 9:00 15 $\begin{pmatrix} 7-0 \\ 5-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$ 0	6	1
熊本	12/12 8:30 0 $\begin{pmatrix} 0-2 \\ 0-6 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 9	-	12/12 17:30 1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-2 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 3	0	3
沖縄	12/13 9:00 0 $\begin{pmatrix} 0-7 \\ 0-5 \\ 0-3 \end{pmatrix}$ 15	12/12 17:30 3 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 1	-	3	2

* リーグ戦による結果は、勝ち3点・引き分け1点とする。
 勝ち点が同点の場合は、1. 得失点差 2. 対戦成績 3. ペナルティ時間の順とする。

<中四国九州ブロック少年／第3代表決定戦>

日程：令和2年12月19日(土)

会場：ヘルスピア倉敷アイスアリーナ(岡山県倉敷市)

沖縄県 1 $\begin{pmatrix} 0-2 \\ 1-2 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 5 愛媛県

中四国九州ブロック少年／第3代表決定戦は、愛媛県が本国体への代表権を獲得。

② スケート競技

大会日程

令和3年1月27日(水)～30日(土)スケート(フィギュア)
 30日(土)～31日(日)スケート(ショートトラック)
 28日(木)～31日(日)スケート(スピード)

競技会場

・愛知県名古屋市南区 日本ガイシアリーナ(フィギュア、ショートトラック)
 ・岐阜県恵那市 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場(スピード)

※ 不出場(参加資格者なし)

※ 新型コロナウイルス感染症による完全に棄権(不出場)の県
 秋田、福島、茨城、群馬、新潟、奈良、山口、香川、長崎、大分、鹿児島

※ 一部、棄権の県
 岩手、宮城、千葉、福井、滋賀

③ スキー競技 (中止)

大会日程

令和3年2月18日(木) 13:30～ 開始式
 2月19日(金) 9:00～ ジャイアントスラローム:成年男子A・(成年女子A)・(成年男子B)
 2月20日(土) 9:00～ ジャイアントスラローム:成年男子C・少年女子
 2月21日(日) 9:00～ ジャイアントスラローム:少年男子・(成年女子B)

競技会場

・秋田県鹿角市花輪 花輪スキー場

No.	氏名	種目	種別	所属
1	中森 麟太郎	ジャイアントスラローム	成年男子A	北海道教育大学
2	田中 聖二		成年男子C	佐賀県農地整備課
3	岡本 和也			久留米工業高等専門学校
4	吉丸 賢次			佐賀県立巖木高等学校
5	加藤 光樹		少年男子	佐賀県立嬉野高等学校
6	中西 冬近			佐賀市立芙蓉中学校
7	中森 菖子		少年女子	佐賀県立唐津東高等学校
8	栗原 小桜			佐賀県立鹿島高等学校
9	中森 日向子			佐賀県立唐津東中学校

第2回JSP〇国体発第190号
令和3年2月1日

都道府県体育・スポーツ協会
事務局長 様

公益財団法人日本スポーツ協会
事務局長 根本 光 憲
(会 印 省 略)

第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会の中止について（通知）

平素より当協会スポーツ推進事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、2月1日開催の令和2年度第3回臨時国民体育大会委員会において、標記競技会を中止することを決定しましたので、ご通知申し上げます。

なお、中止理由は別紙のとおりとなります。

また、参加料及び参加資格等については、下記のとおりとしますので、併せてご承知おきください。

記

1. 同封資料：中止理由
2. 参加料：納入済みの参加料はご返金いたします。
3. 参加資格等の取扱い
3月4日開催予定の第4回国民体育大会委員会にて審議する。

【お問合せ先】 国体推進部 国体課 TEL03-6910-5808
E-mail : kokutai@japan-sports.or.jp

※緊急事態宣言に伴い在宅勤務等をしている関係から、電話がつながりにくくご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解の程よろしく願いいたします。

第 76 回国民体育大会冬季大会スキー競技会（秋田県）中止理由

第 76 回国民体育大会冬季大会スキー競技会については、以下の理由により安全・安心に大会を開催することが困難な状況となっている。

- 会場となる鹿角市花輪スキー場は、国体スキー競技全種目の会場が集中しており、開会式典を実施せず、無観客開催とするなど運営上の工夫では、運営本部や待機所等において参加する選手や監督、運営関係者の 3 密を十分に回避することが困難。
- 選手団の宿泊について、宿泊施設の構造上個室が 2 割しかないため、選手等関係者が相部屋になることにより感染リスクが高まる状況。
- 医療体制について、鹿角市の受入可能病床数が 2 床（最大確保想定 6 床）と脆弱であるとともに、広域医療体制の中核として想定していた秋田市内の基幹病院において院内クラスターが発生するなど、県内でも陽性者が急増し、病床負担も増していることから、選手等関係者に感染者又は感染疑い者が発生した場合の秋田県の医療体制に重大な懸念。
- 1 月 18 日に秋田県は、独自の「新型コロナウイルス感染警戒レベル」をレベル 3 に引き上げており、県民に感染者が多い地域との往来の自粛を強く要請している状況。秋田県内の感染は主に他県との往来によるものであること、また上記の医療体制を踏まえると、秋田県としては、緊急事態宣言発出地域 11 都府県も含めた全国から多くの大会参加者を受け入れることが困難。
- 感染への不安から、ボランティアなどの競技会を運営するための協力員の確保が困難となってきた状況。

審議事項

- 第1号議案 第78回国民スポーツ大会
佐賀県競技力向上基本計画の改訂（案）について・・・P 20 ～ 28
- 第2号議案 第23回全国障害者スポーツ大会
障害者スポーツ普及基本計画の改訂（案）について・・・P 29 ～ 47
- 第3号議案 各種事業実施要領の改正（案）について・・・・・・・・・・P 48 ～ 56
- 第4号議案 令和3年度事業計画（案）について・・・・・・・・・・P 58 ～ 60
- 第5号議案 令和3年度収支予算（案）について・・・・・・・・・・P 61
- 第6号議案 令和3年度佐賀県強化拠点校の設置（案）について・・・P 62 ～ 66
- 第7号議案 令和3年度佐賀県強化拠点地域の設置（案）について・P 67
- 第8号議案 令和3年度佐賀県強化指定コーチ・トップコーチの
認定（案）について・・・・・・・・・・P 68 ～ 70

第1号議案

第78回国民スポーツ大会佐賀県競技力向上基本計画の改訂(案)について

【改訂理由】

- ・「国体」が「国スポ」に変わるなどの名称変更
- ・鹿児島国体の2023年開催に伴う、佐賀国スポの1年延期による目標設定の見直し
- ・種目変更や直近データによる獲得目標得点の見直し など

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>《表紙》 第78回国民スポーツ大会 佐賀県競技力向上基本計画 Ver. 2.0</p>	<p>《表紙》 第78回国民体育大会 佐賀県競技力向上基本計画 Ver. 1.0</p>	<p>(変更) (変更)</p>
<p>佐賀県競技力向上推進本部 (平成28年7月策定) (令和3年3月改訂)</p>	<p>平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会 佐賀県競技力向上対策本部 (平成28年7月策定)</p>	<p>(削除) (変更) (追加)</p>
<p>《目次》 第2章 2(5) 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得状況</p>	<p>《目次》 第2章 2(5) 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格の取得状況</p>	<p>(変更)</p>
<p>第3章 2 具体的な競技力向上推進 3 競技力向上推進の主なスケジュール</p>	<p>第3章 2 具体的な競技力向上対策 3 競技力向上対策の主なスケジュール</p>	<p>(変更) (変更)</p>
<p>第4章 2(1) 基本計画に基づく競技力向上推進事業の展開 (2) 新たな競技力向上推進の立案と組織の充実</p>	<p>第4章 2(1) 基本計画に基づく競技力向上対策事業の展開 (2) 新たな競技力向上対策の立案と組織の充実</p>	<p>(変更) (変更)</p>
<p>《P1》 はじめに ～基本計画の策定の趣旨～ ・「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部」に名称変更(平成30年3月) ・「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部」に名称変更(平成30年7月) ・「佐賀県競技力向上推進本部(以下「推進本部」という。)」に名称変更(令和2年3月) ・第78回佐賀大会開催が令和6年に延期(令和2年10月)</p>	<p>《P1》 はじめに ～基本計画の策定の趣旨～</p>	<p>(追加)</p>

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄																		
<p>《P4》 1 (1) ②グラフの変更 ※第71回岩手大会、第72回愛媛大会においては東京都が天皇杯を獲得。2位は開催県。 ●直近大会(過去4年間)における競技得点の平均</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">◇ 天皇杯得点 1位都県</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2233.1</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(最高 2496.0)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◇ 天皇杯得点 2位都県</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1795.6</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(最高 1995.5)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◇ 佐賀県</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">386.8</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(最高 430.5)</td> </tr> </table> <p>※H28年より競技数が増える等、総合得点が高くなったため過去4年を基準としている。</p> <p>佐賀国スポにおいて1位を獲得するためには、最低でも1,900点以上、安全圏として2,300点以上の競技得点が必要となる。</p>	◇ 天皇杯得点 1位都県	2233.1	(最高 2496.0)	◇ 天皇杯得点 2位都県	1795.6	(最高 1995.5)	◇ 佐賀県	386.8	(最高 430.5)	<p>《P4》 1 (1) ②グラフの変更</p> <p>●過去10年間における競技得点の平均</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">◇ 天皇杯得点 1位都県</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2294.25</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(最高 3086.00)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◇ 天皇杯得点 2位都県</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1624.05</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(最高 1771.50)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◇ 佐賀県</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">436.35</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(最高 620.50)</td> </tr> </table> <p>佐賀国体において1位を獲得するためには、最低でも1,800点以上、安全圏として2,200点以上の競技得点が必要となる。</p>	◇ 天皇杯得点 1位都県	2294.25	(最高 3086.00)	◇ 天皇杯得点 2位都県	1624.05	(最高 1771.50)	◇ 佐賀県	436.35	(最高 620.50)	<p>(変更) (追加)</p> <p>(変更) (変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更) (変更) (変更)</p>
◇ 天皇杯得点 1位都県	2233.1	(最高 2496.0)																		
◇ 天皇杯得点 2位都県	1795.6	(最高 1995.5)																		
◇ 佐賀県	386.8	(最高 430.5)																		
◇ 天皇杯得点 1位都県	2294.25	(最高 3086.00)																		
◇ 天皇杯得点 2位都県	1624.05	(最高 1771.50)																		
◇ 佐賀県	436.35	(最高 620.50)																		
<p>《P5》 1 (1) ③グラフの変更</p>	<p>《P5》 1 (1) ③グラフの変更 平成20年の大分国体を境に、成年種別の競技得点比率が高まっている。なお、過去5大会で天皇杯を獲得した都県における成年種別と少年種別の競技得点比率は、平均で59.1%対40.9%となっており、人口の少ない地方ほど、成年種別の競技得点比率が高い傾向にある。</p>	<p>(変更) (削除)</p>																		
<p>《P6》 1 (1) ④グラフの変更</p>	<p>《P6》 1 (1) ④グラフの変更 本県の得点源であった新体操男子が平成20年の大分国体を最後に開催種目から外れたことなども影響し、少年男子の落ち込みが目立つ。</p>	<p>(変更) (削除)</p>																		
<p>◇ 得点差(最高時-R1) 成年男子 59 少年男子 47 成年女子 16.5 少年女子 4.5</p>	<p>◇ 得点差(最高時-H27) 成年男子 105 少年男子 177 成年女子 75 少年女子 71</p>	<p>(変更) (変更)</p>																		
<p>《P7》 1 (1) ⑤グラフの変更 個人種目と団体種目で得点配分が異なるため、入賞競技数が同数であっても、競技得点には大きな開きが見られる。なお、R1(第74回)国民体育大会において天皇杯を獲得した茨城県の入賞競技数は38競技。</p>	<p>《P7》 1 (1) ⑤グラフの変更 個人種目と団体種目で得点配分が異なるため、入賞競技数が同数であっても、競技得点には大きな開きが見られる。なお、H27(第70回)国民体育大会において天皇杯を獲得した和歌山県の入賞競技数は35競技。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更) (変更) (変更)</p>																		

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>《P8》 1 (1) ⑥グラフの変更 セーリング競技や体操競技等、5年連続で入賞を果たしている競技が7競技ある一方、未入賞競技が14競技あり、二極化の様相を呈している。また、同競技内においても、種別によって競技力に差がある。</p>	<p>《P8》 1 (1) ⑥グラフの変更 セーリング競技や体操競技等、5年連続で入賞を果たしている競技が7競技ある一方、未入賞競技が11競技あり、二極化の様相を呈している。また、同競技内においても、種別によって競技力に差がある。</p>	(変更) (変更)
<p>《P9》 1 (1) ⑦グラフの変更 ※ 令和元年(第74回)国民体育大会(茨城国体)から令和5年(特別大会)国民体育大会(鹿児島国体)までは、銃剣道とクレー射撃が隔年で入れ替わる。また令和6年(第78回)国民スポーツ大会(佐賀国スポ)からは、クレー射撃とボクシングが隔年で入れ替わる。 過去5大会の平均では獲得可能な最大の競技得点の5.0%だが、それぞれの競技における最高成績が仮に単年度に重なったと想定した場合、10.0%となり、競技得点741点は天皇杯得点10位台後半に相当する。</p>	<p>《P9》 1 (1) ⑦グラフの変更 ※ 平成28年(第71回)国民体育大会(岩手国体)では、銃剣道競技の代わりにトライアスロン競技が正式競技となる。以降、平成30年(第73回)国民体育大会(福井国体)まで隔年で入れ替わる。 過去5会の平均では獲得可能な最大の競技得点の5.4%だが、それぞれの競技における最高成績が仮に単年度に重なったと想定した場合、11.6%となり、競技得点840点は天皇杯得点10位台前半に相当する。</p>	(変更) (変更) (変更) (変更) (変更)
<p>《P10》 1 (1) ⑧グラフの変更 ※ 成年種別に参加する選手が、居住地又は勤務地に関わらず、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県から参加できる制度。</p>	<p>《P10》 1 (1) ⑧グラフの変更 ※ 成年種別に参加する選手が、居住地又は勤務地に関わらず、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県から参加できる制度。</p>	(変更) (追加)
<p>《P11》 1 (2) グラフの変更 H27年度 剣道、柔道 H28年度 剣道、柔道 H29年度 剣道、柔道 H30年度 体操、剣道、水泳、柔道 R元年度 体操、相撲、柔道</p>	<p>《P11》 1 (2) グラフの変更 H23 軟式野球、体操(競技) H25 剣道、水泳 H26 柔道 H27 柔道、剣道</p>	(変更) (変更)
<p>1 (3) ①グラフの変更 H27年度 体操(新体操、競技)、レスリング、柔道、水泳(飛込) H28年度 体操(新体操)、剣道 H29年度 体操(新体操)、レスリング、柔道 H30年度 体操(新体操、競技)、ソフトボール、柔道、陸上、水泳、レスリング R元年度 体操(新体操)、陸上、柔道、水泳(競泳)、レスリング、剣道</p>	<p>1 (3) ①グラフの変更 H23 体操(新体操)、セーリング、ソフトボール、レスリング、柔道、陸上、アーチェリー H24 体操(新体操、競技)、セーリング、カヌー、ウェイトリフティング H25 体操(新体操)、セーリング、レスリング、なぎなた、水泳(飛込)、フェンシング H26 レスリング、なぎなた、水泳、カヌー、卓球 H27 体操(新体操、競技)、レスリング、柔道、水泳(飛込)</p>	(変更) (変更)

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>《P12》 1(3)②グラフの変更 H27年度 <u>柔道、バドミントン</u> H28年度 <u>体操(新体操)、ホッケー、柔道</u> H29年度 <u>体操(新体操)、柔道、レスリング、 ホッケー、剣道、クイミング</u> H30年度 <u>体操(新体操)、クイミング、 ホッケー、柔道、レスリング、 ウエトリフティング</u> R元年度 <u>新型コロナウイルス感染症の影響のため大会中止</u></p>	<p>《P12》 1(3)②グラフの変更 H23 <u>体操(新体操)、ソフトボール、柔道、 ライフル射撃、ウエトリフティング、自転車</u> H24 <u>体操(新体操、競技)、なぎなた、 レスリング、弓道、少林寺拳法(※)</u> H25 <u>体操(新体操、競技)、なぎなた、 レスリング、弓道、ウエトリフティング、 ラグビーフットボール</u> H26 <u>体操(新体操、競技)、なぎなた、 レスリング、アーチェリー、ホッケー</u> H27 <u>柔道、バドミントン</u></p>	<p>(変更) (変更)</p>
<p>《P13》 1(4)表の変更</p>	<p>《P12》 1(4)表の変更</p>	<p>(変更)</p>
<p>《P14》 2(1)表の変更 (公財)佐賀県スポーツ協会加盟団体調書 より</p>	<p>《P13》 2(1)表の変更 (公財)佐賀県体育協会加盟団体調書より</p>	<p>(変更) (変更)</p>
<p>《P15》 2(2)グラフの変更 <u>中学校においては過去5ヶ年にわたって高い水 準を維持しているが、地域クラブ活動への移行も あり徐々に下がってきている。</u> <u>高等学校進学時に部活動を離れる生徒が多い。</u></p>	<p>《P14》 2(2)グラフの変更 <u>中学校においては過去10ヶ年にわたって高い 水準を維持している。高等学校進学時に運動部活 動から離れる生徒が多いが、改善の兆しが見られ る。</u></p>	<p>(変更) (変更)</p>
<p>《P16》 2(3)グラフの変更 <u>小学5年生・中学2年生・高校2年生のデー タは『令和元年度佐賀県子供の体力・運動能力調査 報告書』(令和2年3月 佐賀県教育委員会)より</u></p> <p><u>高校生は、全種目において概ね全国平均値と同 水準か、種目によってはやや上回っている。高校 2年生の男子については全体的に高い水準を示 し、バランスの良さが見て取れる。一方、小学 生・中学生は全国平均値を下回っている種目が多 いが、小学生女子・中学生女子ともに長座体前屈 や上体起こしなど伸びている種目もある。</u></p>	<p>《P15》 2(3)グラフの変更 <u>小学5年生・中学2年生のデータは『平成27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査』(平 成27年12月 スポーツ庁)、高校2年生のデー タは『平成27年度佐賀県子供の体力・運動調査 報告書』(平成28年3月 佐賀県教育委員会)よ り</u></p> <p><u>「上体おこし」を除き、全校種において概ね全 国平均値と同水準か、種目によってはやや上回っ ている。高校2年生の男子については全体的に高 い水準を示し、バランスの良さが見て取れる。な お、平成27年度の本県の記録は、男子は中高の 全学年で反復横跳びが過去最高となるなど、8学 年14種目で最高値を記録し、女子も反復横跳び や長座体前屈等が伸び、男子を上回る9学年23 種目で過去最高となった。</u></p>	<p>(変更) (変更)</p> <p>(変更)</p>

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄																				
<p>《P16》 2(4)表の変更</p> <p>《P17》 2(5)公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得状況</p> <p>《P18》 第3章 1 取り組むべき4つの柱</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 85%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 組織体制の整備・充実</td> <td>競技力向上<u>推進</u>を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実と、関係諸団体との連携強化を図る。</td> </tr> <tr> <td>(2) 選手の発掘・育成・強化・確保</td> <td>佐賀<u>国スポ</u>において主力となる少年種別選手の発掘・育成・強化と、成年種別選手の強化・確保を図る。</td> </tr> <tr> <td>(3) 指導体制の確立</td> <td>指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、適正配置を行い、計画的・継続的な指導体制の確立をめざす。</td> </tr> <tr> <td>(4) 競技力向上のための環境整備</td> <td>競技力向上<u>推進</u>を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努める。</td> </tr> </tbody> </table> <p>《P19》 2 具体的な競技力向上<u>推進</u></p> <p>(1) ②ア 強化の主体となる県スポーツ協会、競技団体、学校体育団体及び県内企業等が相互に連携し、強化活動に取り組むことができる環境の整備に努める。</p> <p>イ <u>国スポ</u>の開催を契機として「わが町のスポーツづくり」や「スポーツツーリズム」が加速又は施策化されるよう、市町、競技団体及び教育機関等の連携を支援する。</p>	区 分	内 容	(1) 組織体制の整備・充実	競技力向上 <u>推進</u> を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実と、関係諸団体との連携強化を図る。	(2) 選手の発掘・育成・強化・確保	佐賀 <u>国スポ</u> において主力となる少年種別選手の発掘・育成・強化と、成年種別選手の強化・確保を図る。	(3) 指導体制の確立	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、適正配置を行い、計画的・継続的な指導体制の確立をめざす。	(4) 競技力向上のための環境整備	競技力向上 <u>推進</u> を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努める。	<p>《P15》 2(4)表の変更</p> <p>《P17》 2(5)公益財団法人日本<u>体育協会</u>公認スポーツ指導者資格の取得状況</p> <p>《P18》 第3章 1 取り組むべき4つの柱</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 85%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 組織体制の整備・充実</td> <td>競技力向上<u>対策</u>を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実と、関係諸団体との連携強化を図る。</td> </tr> <tr> <td>(2) 選手の発掘・育成・強化・確保</td> <td>佐賀<u>国体</u>において主力となる少年種別選手の発掘・育成・強化と、成年種別選手の強化・確保を図る。</td> </tr> <tr> <td>(3) 指導体制の確立</td> <td>指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、適正配置を行い、計画的・継続的な指導体制の確立をめざす。</td> </tr> <tr> <td>(4) 競技力向上のための環境整備</td> <td>競技力向上<u>対策</u>を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努める。</td> </tr> </tbody> </table> <p>《P19》 2 具体的な競技力向上<u>対策</u></p> <p>(1) ②ア 強化の主体となる<u>県体育協会</u>、競技団体、学校体育団体及び県内企業等が相互に連携し、強化活動に取り組むことができる環境の整備に努める。</p> <p>イ <u>国体</u>の開催を契機として「わが町のスポーツづくり」や「スポーツツーリズム」が加速又は施策化されるよう、市町、競技団体及び教育機関等の連携を支援する。</p>	区 分	内 容	(1) 組織体制の整備・充実	競技力向上 <u>対策</u> を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実と、関係諸団体との連携強化を図る。	(2) 選手の発掘・育成・強化・確保	佐賀 <u>国体</u> において主力となる少年種別選手の発掘・育成・強化と、成年種別選手の強化・確保を図る。	(3) 指導体制の確立	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、適正配置を行い、計画的・継続的な指導体制の確立をめざす。	(4) 競技力向上のための環境整備	競技力向上 <u>対策</u> を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努める。	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
区 分	内 容																					
(1) 組織体制の整備・充実	競技力向上 <u>推進</u> を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実と、関係諸団体との連携強化を図る。																					
(2) 選手の発掘・育成・強化・確保	佐賀 <u>国スポ</u> において主力となる少年種別選手の発掘・育成・強化と、成年種別選手の強化・確保を図る。																					
(3) 指導体制の確立	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、適正配置を行い、計画的・継続的な指導体制の確立をめざす。																					
(4) 競技力向上のための環境整備	競技力向上 <u>推進</u> を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努める。																					
区 分	内 容																					
(1) 組織体制の整備・充実	競技力向上 <u>対策</u> を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実と、関係諸団体との連携強化を図る。																					
(2) 選手の発掘・育成・強化・確保	佐賀 <u>国体</u> において主力となる少年種別選手の発掘・育成・強化と、成年種別選手の強化・確保を図る。																					
(3) 指導体制の確立	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、適正配置を行い、計画的・継続的な指導体制の確立をめざす。																					
(4) 競技力向上のための環境整備	競技力向上 <u>対策</u> を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努める。																					

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>《P20》</p> <p>(2) ①ア スポーツ体験教室等の開催 また、公益財団法人佐賀県スポーツ協会が主催する「SSP スポーツトライアル支援事業」との連携を図り、特に未普及競技における競技人口の増加を目指す。</p> <p>さらに、佐賀国スポ開催年に少年種別の選手となる年代（以下「ターゲットエイジ」という。下図参照）を含む子供たちの体力・運動能力の実態を把握・分析し、有望選手の発掘に努める。</p> <p>ターゲットエイジ早見表の変更</p> <p>イ 強化指定選手の認定 また、<u>スポーツエリートアカデミー SAGA (SEAS)</u> を設置し、「強化指定選手」がより高い意識を持って競技活動に取り組むとともに、競技の枠を超えて切磋琢磨する事業を展開する。</p>	<p>《P20》</p> <p>(2) ①ア スポーツ体験教室等の開催 また、公益財団法人佐賀県体育協会が主催する「チャレンジ・スポーツ教室」との連携を図り、特に未普及競技における競技人口の増加を目指す。</p> <p>さらに、佐賀国体開催年に少年種別の選手となる年代（以下「ターゲットエイジ」という。下図参照）を含む子供たちの体力・運動能力の実態を把握・分析し、有望選手の発掘に努める。</p> <p>ターゲットエイジ早見表の変更</p> <p>イ 強化指定選手の認定 また、<u>佐賀国体エリートアカデミー</u> を設置し、「強化指定選手」がより高い意識を持って競技活動に取り組むとともに、競技の枠を超えて切磋琢磨する事業を展開する。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
<p>《P21》</p> <p>エ 強化拠点校（指定校・推進校）及び拠点地域の選定 佐賀国スポで開催される競技については、過去の競技成績や地域性、会場地市町の情勢等を勘案しながら、運動部活動の新設を含めて強化の拠点となる学校や地域を選定し、その強化活動に対する支援を行う。</p> <p>オ 県外の学校から本県の強化拠点校（指定校・推進校）に進学する選手の中で、国民スポーツ大会において上位入賞の可能性が高く、かつ人物的にも優れた選手に対しては、競技活動に専念できる環境を整える。</p>	<p>《P21》</p> <p>エ 強化拠点校（指定校・推進校）及び拠点地域の選定 佐賀国体で開催される競技については、過去の競技成績や地域性、会場地市町の情勢等を勘案しながら、運動部活動の新設を含めて強化の拠点となる学校や地域を選定し、その強化活動に対する支援を行う。</p> <p>オ 県外の学校から本県の強化拠点校（指定校・推進校）に進学する選手の中で、国民体育大会において上位入賞の可能性が高く、かつ人物的にも優れた選手に対しては、競技活動に専念できる環境を整える。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
<p>《P21》</p> <p>②成年種別の強化・確保</p> <p>ア 企業に所属するチームや選手の国民スポーツ大会への出場を依頼するとともに、<u>強化企業チームを選定し</u>、強化活動を支援する。</p> <p>イ ふるさと選手制度を活用して本県から国民スポーツ大会に出場する選手の強化活動に対する支援を行う。</p>	<p>《P21》</p> <p>②成年種別の強化・確保</p> <p>ア 企業に所属するチームや選手の国民体育大会への出場を依頼するとともに、強化活動を支援する。</p> <p>イ ふるさと選手制度を活用して本県から国民体育大会に出場する選手の強化活動に対する支援を行う。</p>	<p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p>

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>《P22》</p> <p>③両種別共通の強化</p> <p>ア 競技団体及び強化指定選手が、競技力の向上に資する県内強化合宿や県外遠征、大会参加等を計画・実施する場合は、その強化活動に対する支援を行う。</p> <p>イ 普及活動がうまく進まず、競技人口の少ない競技団体や国民スポーツ大会における入賞歴の少ない競技団体に対しては特別な支援策を講じ、全ての競技団体において競技力の向上が図られるよう努める。</p> <p>(3) ①イ 県内の指導者を国内外の優れた指導者のもとや中央競技団体等が実施する研修会に派遣し、最新の指導法や最先端の情報を収集する事業や、佐賀国スポにおいて監督を担う可能性の高い指導者を国民スポーツ大会に帯同コーチとして派遣し、同大会における実戦的な指導法を学ぶ事業に対する支援を行う。</p>	<p>《P22》</p> <p>③両種別共通の強化</p> <p>ア 競技団体、<u>強化拠点校</u>（指定校・推進校）及び強化指定選手が、競技力の向上に資する県内強化合宿や県外遠征、大会参加等を計画・実施する場合は、その強化活動に対する支援を行う。</p> <p>イ 普及活動がうまく進まず、競技人口の少ない競技団体や国民体育大会における入賞歴の少ない競技団体に対しては特別な支援策を講じ、全ての競技団体において競技力の向上が図られるよう努める。</p> <p>(3) ①イ 県内の指導者を国内外の優れた指導者のもとや中央競技団体等が実施する研修会に派遣し、最新の指導法や最先端の情報を収集する事業や、佐賀国体において監督を担う可能性の高い指導者を国民体育大会に帯同コーチとして派遣し、同大会における実戦的な指導法を学ぶ事業に対する支援を行う。</p>	<p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
<p>《P23》</p> <p>ウ 国民スポーツ大会の監督にその所有が義務付けられている公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得を目指す指導者や、更なる上級資格の取得に挑戦する指導者に対する支援を行う。</p> <p>②イ チームや個人を幾度も全国入賞に導くなど、高い指導力や豊富な指導経験を有する県内外の指導者に「スポーツアドバイザー」を委嘱し、各競技団体における指導体制の充実を図る。</p>	<p>《P23》</p> <p>ウ 国民体育大会の監督にその所有が義務付けられている公益財団法人日本<u>体育協会</u>公認スポーツ指導者資格の取得を目指す指導者や、更なる上級資格の取得に挑戦する指導者に対する支援を行う。</p> <p>②イ チームや個人を幾度も全国入賞に導くなど、高い指導力や豊富な指導経験を有する県内外の指導者に「スポーツアドバイザー（<u>仮称</u>）」を委嘱し、各競技団体における指導体制の充実を図る。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p>
<p>《P24》</p> <p>③指導環境の整備</p> <p>イ 国民スポーツ大会は選手団が県の威信をかけて臨む大会であることから、指導者自らが所属する職場の理解や協力を求めることは勿論のこと、指導者が競技力の向上に資する研修会や競技会等に参加しやすい雰囲気づくりを支援する。</p>	<p>《P24》</p> <p>③指導環境の整備</p> <p>イ 国民体育大会は選手団が県の威信をかけて臨む大会であることから、指導者自らが所属する職場の理解や協力を求めることは勿論のこと、指導者が競技力の向上に資する研修会や競技会等に参加しやすい雰囲気づくりを支援する。</p>	<p>(変更)</p>

基本計画新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>《P25》</p> <p>②ア 公益財団法人日本スポーツ協会等が主催する専門の研修会や個別研修に参加し、資格の取得を目指す医師、トレーナー、薬剤師、歯科医師、栄養士等やスキルアップを志すスポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツファーマシスト、スポーツデンティスト、スポーツ栄養士等（以下「スタッフ」という。）に対する支援を行う。</p> <p>イ 国民スポーツ大会をはじめとする主要な大会にトレーナーを派遣したり、専属スポーツファーマシストを各競技に配置するなど、選手のパフォーマンスを最大限に引き出すため、スタッフが選手をサポートする体制づくりを推進する。</p> <p>③ウ 先催県や強豪都道府県が取り組んでいる強化推進事業等の情報を収集・分析し、関係諸団体に還元しながら、確実性と現実性を兼ね備えた戦略的な強化推進事業につなげていく。</p>	<p>《P25》</p> <p>②ア 公益財団法人日本体育協会等が主催する専門の研修会や個別研修に参加し、資格の取得を目指す医師、トレーナー、薬剤師、歯科医師、栄養士等やスキルアップを志すスポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツファーマシスト、スポーツデンティスト、スポーツ栄養士等（以下「スタッフ」という。）に対する支援を行う。</p> <p>イ 国民体育大会をはじめとする主要な大会にトレーナーを派遣したり、専属スポーツファーマシストを各競技に配置するなど、選手のパフォーマンスを最大限に引き出すため、スタッフが選手をサポートする体制づくりを推進する。</p> <p>③ウ 先催県や強豪都道府県が取り組んでいる強化対策事業等の情報を収集・分析し、関係諸団体に還元しながら、確実性と現実性を兼ね備えた戦略的な強化対策事業につなげていく。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
<p>《P26》</p> <p>3 競技力向上推進の主なスケジュール表の変更</p>	<p>《P26》</p> <p>3 競技力向上対策の主なスケジュール表の変更</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p>
<p>《P27》</p> <p>第4章</p> <p>1 推進体制の組織図の変更</p> <p>2 (1) 基本計画に基づく競技力向上推進事業の展開 競技団体の現状を公平に分析・評価した上で、競技力向上推進事業に係る各種予算を適正に配分・執行管理し、競技力の着実な向上につなげる。</p> <p>(2) 新たな競技力向上推進の立案と組織の充実 既実施の競技力向上推進事業の成果や課題を検証し、必要に応じて基本計画の見直しを行うなど、現状に即した競技力向上推進を立案する。 また、より効果的・効率的な競技力向上推進事業を推進するにあたり、適宜、競技力向上推進本部の組織の充実を図る。</p>	<p>《P27》</p> <p>第4章</p> <p>1 推進体制の組織図の変更</p> <p>2 (1) 基本計画に基づく競技力向上対策事業の展開 競技団体の現状を公平に分析・評価した上で、競技力向上対策事業に係る各種予算を適正に配分・執行管理し、競技力の着実な向上につなげる。</p> <p>(2) 新たな競技力向上対策の立案と組織の充実 既実施の競技力向上対策事業の成果や課題を検証し、必要に応じて基本計画の見直しを行うなど、現状に即した競技力向上対策を立案する。 また、より効果的・効率的な競技力向上対策事業を推進するにあたり、適宜、競技力向上対策本部の組織の充実を図る。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

第23回全国障害者スポーツ大会
障害者スポーツ普及基本計画の改訂（案）について

【改訂理由】

- ・全障スポ鹿児島大会の2023年開催に伴う、全障スポ佐賀大会の1年延期による基本計画の対象となる期間と目標の見直し
- ・障害者スポーツに関する統計データ、取組状況、統計分析等の修正

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
《表紙》 Ver.2.0				《表紙》 Ver.1.0				(変更)
(削除)				平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会				(削除)
佐賀県競技力向上推進本部 <u>(平成29年3月策定)</u> <u>(令和3年3月改訂)</u>				佐賀県競技力向上対策本部				(変更) (追加) (追加)
《P1》 はじめに～基本計画の策定の趣旨～ ・「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部」に名称変更(平成30年3月) ・「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上推進本部」に名称変更(平成30年7月) ・「佐賀県競技力向上推進本部(以下「推進本部」という。)」に名称変更(令和2年3月) ・第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会開催が令和6年に延期(令和2年10月)				《P1》 はじめに～基本計画の策定の趣旨～				(追加)
《P2》 第1章 2 基本計画の対象となる期間と目標				《P2》 第1章 2 基本計画の対象となる期間と目標				
区	期間	目標		区	期間	目標		
分		九州プロッ	個人競技	分		九州プロッ	個人競	

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
		ク予選会 等に出場 できる団体 競技種目 数	メダル数			ク予選会 等に出場 できる団 体競技種 目数	技メダル 数	
発 掘・ 育 成 期	H28年 度～ H30年 度	3種目/ 12種目		発 掘・ 育 成 期	H28年度 ～H30年 度	3種目/ 12種目		
充 実 期	H31年 度～ R3 年 度	6種目/ 12種目		充 実 期	H31年度 ～ H33 年 度	6種目/ 12種目		(変更)
完 成 期	R4 年 度	11種目 /12種 目		完 成 期	H34 年度	11種目 /12種 目		(変更)
	R5 年 度	12種目 /12種 目			H35 年度	12種目 /12種 目	140	(変 更)・ (削除)
	R6 年 度	12種目 /12種 目	140	定 着 期	H36 年度 以降	12種目 /12種 目		(追加) (変更)
定 着 期	R7 年 度以降	12種目 /12種 目						(追加)
《P3》 第2章 1(1)①ア 正式競技と参加者数 (令 和3年三重大会実施予定競技)				《P3》 第2章 1(1)①ア 正式競技と参加者数 (平成30年福井大会実施予定競技)				(変更)
	実施競技・参加区分	参加選 手数			実施競技・参加区 分	参加選 手数		

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
			(人)				(人)	
個人 (7 競 技)	陸上競技	身体・知的	<u>960</u>	個人 (6 競 技)	陸上競技	身体・知的	<u>1,080</u>	(変更)
	水泳	身体・知的	<u>308</u>		水泳	身体・知的	<u>310</u>	(変更)
	アーチェリー	身体	<u>75</u>		アーチェリー	身体	<u>70</u>	(変更)
	卓球※サ ウンドテ ーブルテ ニス (身体) 含む	身体・知的	<u>460</u>		卓球※サ ウンドテ ーブル テニス(身 体)含む	身体・知的	<u>320</u>	(変更)
	フライン グデ ィスク	身体・知的	<u>397</u>		フライン グデ ィスク	身体・知的	<u>420</u>	(変更)
	ボウリング	知的	200		ボウリング	知的	200	
	ボッチャ	身体	<u>140</u>					(変更)
	個人競技計		<u>2,540</u>		個人競技計		<u>2,400</u>	(変更)
団体 (7 競 技)	バスケット ボール	知的 (男女 別)	168	団体 (7 競 技)	バスケットボ ール	知的 (男 女 別)	168	
	車いすバス ケットボ ール	身体	84		車椅子バス ケットボ ール	身体	84	(変更)
	ソフトボ ール	知的	105		ソフトボ ール	知的	105	
	グランドソ フトボ ール	身体	105		グランドソ フトボ ール	身体	105	
	バレーボ ール	身体 (男女 別)	168		バレーボ ール	身体 (男 女)	168	

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
	バレーボール	知的 (男女別)	168		バレーボール	知的 (男女別)	168	(変更) (追加) (変更) (変更) (追加)
	バレーボール	精神	84		バレーボール	精神	84	
	サッカー	知的	112		サッカー	知的	112	
	フットベースボール	知的	105		フットベースボール	知的	105	
	団体競技計		1,099		団体競技計		1,099	
総参加選手数※			3,639	総参加選手数※			3,499	
<p>※総参加選手数は、参加者の上限数である。</p> <p>※<u>三重大会から、ボッチャが正式種目として追加される。</u></p>				<p>※総参加選手数は、参加者の上限数である。</p>				
<p>イ オープン競技</p> <p>障害者のスポーツの普及・振興並びに障害に対する理解を深めるため、正式競技以外の協議の実施について、関係団体などと協議し、競技を決定し、大会期間中に実施する。</p> <p>(<u>三重大会実施予定競技</u>) <u>スポーツウエルネス吹矢、ハンザクラスセーリング</u></p>				<p>イ オープン競技</p> <p>障害者のスポーツの普及・振興並びに障害に対する理解を深めるため、正式競技以外の協議の実施について、関係団体などと協議し、競技を決定し、大会期間中に実施する。</p> <p>(<u>福井大会実施予定競技</u>) <u>卓球バレー、車椅子テニス、ゲートボール</u></p>				
<p>《P4》</p> <p>②本県の大会参加状況及び成績（平成 23 年～<u>令和 2 年</u>）</p> <p><u>表（平成 29 年～R 2 年のデータ）追加</u></p>				<p>《P4》</p> <p>②本県の大会参加状況及び成績（平成 23 年～<u>平成 28 年</u>）</p>				
<p>※個人競技種目</p> <p>出場者数は、障害者手帳所持者数により決められており、例年 23 人前後の出場者数である。九州内で開催される場合は、近県の特別参加枠として、出場者が上乗せされる。</p>				<p>※個人競技種目</p> <p>出場者数は、障害者手帳所持者数により決められており、例年 23 人前後の出場者数である。九州内で開催される場合は、近県の特別参加枠として、出場者が上乗せされる。</p>				

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考
<p>(令和2年度鹿児島大会調査では32人の割当)</p> <p>※団体競技種目</p> <p>団体競技の出場チームは、他県開催時は九州ブロック予選会で優勝したチーム。<u>平成28年度時点において、バレーボール(精神)、車いすバスケットボールのチームが九州ブロック予選会に出場していたが、令和元年度の九州ブロック予選会には、これまでの2種目に加え、バレーボール(知的男子)、グランドソフトボール、サッカー、ソフトボールの6チームが出場した(いずれも予選敗退)。団体競技で全国大会に出場したのは、バレーボール(精神)チームの第8回大会(平成20年)、第9回(平成21年)、第11回大会(平成23年)、第12回大会(平成24年)の4大会のみである。</u></p> <p><u>その他、バスケットボール(男子)、バレーボール(知的女子)については、令和2年度はチームが結成できており、九州ブロック予選会に出場予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により予選会が中止となったため、まだ、大会出場実績がない。</u></p> <p><u>バスケットボール(女子)、バレーボール(身体男女)、フットベースボールについては、県内にチームがないため、九州ブロック予選会に出場できない状況である。</u></p>	<p>(平成26年度長崎大会では31人の割当)</p> <p>※団体競技種目</p> <p>団体競技の出場チームは、他県開催時は九州ブロック予選会で優勝したチーム。九州ブロック予選会には、バレーボール(精神)、車椅子バスケットボールが出場しているが、全国大会に出場したのは、バレーボール(精神)チームの第8回大会(平成20年)、第9回(平成21年)、第11回大会(平成23年)、第12回大会(平成24年)の4大会のみである。</p> <p><u>他競技種目は、県内にチームがないため、九州ブロック予選会に出場できない状況である。</u></p>	<p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p>
<p>《P5》</p> <p>(2)【デフリンピック佐賀県選手】</p> <p><u>2017年の情報追加</u></p>		<p>(追加)</p>
<p>《P6》</p>	<p>《P6》</p>	

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考
<p>2 (1) ①佐賀県人口と障害者手帳所持者数</p> <p>県内の令和 2年 3月 1日現在の推計人口は、対平成 23年比では、95.7%と減少しているが、障害者手帳所持者数は、身体では対平成 23 年比 98.6%と近年減少が見られるものの、知的では119.5%、精神では197.2%、全体では107.9%と増加しているため、県民の障害者手帳所持者の割合は増加している。</p> <p>また、65歳以上（精神は60歳以上）の割合が全体で、59.8%と高い状況である。</p> <p>佐賀県人口の推移（毎年3月1日現在） <u>表差替（H23～R2）</u></p> <p>障害者手帳所持者数（毎年3月末現在） <u>表差替（H23～R2）</u></p> <p>《P7》 障害者年齢別内訳（令和 2年 3月末現在） <u>表差替（R2.3 末現在の数字）</u></p> <p>障害者手帳所持者数の推移（平成 23年～令和 2年） <u>グラフ差替（H23～R2）</u></p> <p>《P8》 ②障害者スポーツ人口</p> <p>平成 27年度の佐賀県障害者スポーツ大会に参加した特別支援学校や作業所等 33 団体に対し、スポーツに関するアンケート調査を</p>	<p>2 (1) ①佐賀県人口と障害者手帳所持者数</p> <p>県内の平成 28年 3月 1日現在の推計人口は、対平成 19年比では、96.5%と減少しているが、障害者手帳所持者数は、身体では近年減少が見られるものの、身体対平成 19 年比では、108.0%、知的では122.6%、精神では184.9%、全体では114.1%と増加しているため、県民の障害者手帳所持者の割合は増加している。</p> <p>また、65歳以上（精神は60歳以上）の割合が全体で、59.9%と高い状況である。</p> <p>佐賀県人口の推移（毎年3月1日現在） <u>表差替（H19～H28）</u></p> <p>障害者手帳所持者数（毎年3月末現在） <u>表差替（H19～H28）</u></p> <p>《P7》 障害者年齢別内訳（平成 28年 3月末現在） <u>表差替（H28.3 末現在の数字）</u></p> <p>障害者手帳所持者数の推移（平成 19年～平成 28年） <u>グラフ差替（H19～H28）</u></p> <p>《P8》 ②障害者スポーツ人口</p> <p>平成 27年度の佐賀県障害者スポーツ大会に参加した特別支援学校や作業所等 33 団体に対し、スポーツに関するアンケート調査を</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考
<p>行ったところ、「日頃からスポーツを行っている人（週1回以上）」の割合は、22.4%（3,124人中701人）だった。</p> <p>さらに、令和元年度に特別支援学校や作業所等に対し実施した障害者スポーツに関するアンケート調査によると、「日頃からスポーツを行っている人（週1回以上）」の割合は、47.7%（2,914人中1,391人）だった。</p> <p>この結果は、一見高い数値のように思えるが、特別支援学校に通う学生を除いた、「日頃からスポーツを行っている人（週1回以上）」の割合は、28.6%（1,911人中547人）であり、特別支援学校を卒業した後の環境づくりが重要であると言える。</p> <p>環境づくりの取組の一つとして、佐賀県障がい者スポーツ協会と協力し、様々な種目を気軽に体験できる障害者スポーツ教室を開催しているが、継続的に開催してきた結果、1教室当たりの参加者数平均は、平成26年度8.57人に比べて、令和元年度は14.42人と約1.68倍の増となっている。</p>	<p>行ったところ、日頃からスポーツを行っている人（週1回以上）の割合は、22.4%（3,124人中701人）だった。</p> <p><u>（障害者については、障害の程度や交通手段の確保など、様々な状況があるため、この割合の多寡についての評価は難しいところである。）</u></p> <p><u>なお、現在、全国障害者スポーツ大会での実施競技である陸上競技やフライングディスクについては、障害者スポーツ教室を開催しているが、平成27年度から開催回数を増やした結果、参加者は平成26年度に比べて、566人増の約2.57倍となっている。</u></p>	<p>（追加）</p> <p>（削除）</p> <p>（追加）</p>

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
障害者スポーツ教室の実施状況（平成 26 年度から令和元年度） <u>平成 28 年度の種目数、回数、参加延べ人数修正</u> <u>平成 29 年度～令和元年度のデータ追加</u>				障害者スポーツ教室の実施状況（平成 26 年度から平成 28 年度上半期）				(変更) (変更) (追加)
《P9》 県内の主なスポーツ大会一覧				《P8》 県内の主なスポーツ大会一覧				(削除)
大会名	時期	主催者	概要	大会名	時期	主催者	概要	(追加)
全国障害者スポーツ大会 佐賀佐賀県代表選手選考会	5 月	佐賀県	全国大会に出場する個人競技の選手を選考する 大会競技種目：陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング、フライングディスク、 <u>ボッチャ</u>	全国障害者スポーツ大会 佐賀佐賀県代表選手選考会	5 月第 3 日曜日	佐賀県	全国大会に出場する個人競技の選手を選考する 大会競技種目：陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング、フライングディスク	
全国さわやかスポーツ・レクリエーション	5 月下旬	佐賀県	スポーツを始めてみたい方など、誰	全国さわやかスポーツ・レクリエーション	5 月下旬	佐賀県	スポーツを始めてみたい方など、誰	

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
ン祭			でも参加 できるス ポーツイ ベント 競技種 目：卓 球バレ ー、スポ ーツ <u>ウエ</u> <u>ルネス</u> 吹 矢 他	ン祭			でも参加 できるス ポーツイ ベント 競技種 目：卓 球バレ ー、スポ ーツ吹矢 他	(追加)
ムツゴロ ウ杯卓 球バレ ー交流大 会	9月末	佐賀県 卓球バ レー協会	県外から の参加も ある卓球 バレーの 大会	ムツゴロ ウ杯卓 球バレ ー交流大 会	9月末	佐賀県 卓球バ レー協会	県外から の参加も ある卓球 バレーの 大会	
佐賀県 障がい 者スポ ーツ大会	10月	佐賀県	スポーツ の楽しさ を体験し ながら、 競技力 の向上を 図る大 会 競技種 目：陸 上競 技、水 泳、アー チェリー、 卓球、ボ ウリング、 フライン グデイス	佐賀県 障がい 者スポ ーツ大会	10月第 3土曜 日・日曜 日	佐賀県	スポーツ の楽しさ を体験し ながら、 競技力 の向上を 図る大 会 競技種 目：陸 上競 技、水 泳、アー チェー、 卓球、ボ ウリング、 フライン グデイス	(削除)
								(追加)

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
			ク、 <u>ボツ</u> <u>チャ</u> 、 <u>ス</u> <u>ポーツウ</u> <u>エルネス</u> 吹矢、 卓球バ レー				ク、スポ ーツ吹 矢、卓 球バレー	(追加) (追加)
むつごろ うCUP <u>車いすバ</u> スケツ トボ ール大 会	10月下 旬	むつごろ うCUP 大会実 行委員 会	九州各 県のチ ームが 参加す る <u>車いすバ</u> スケツ トボ ールの 大会	むつごろ うCUP <u>車椅子</u> バスケ トボ ール大 会	10月下 旬	むつごろ うCUP 大会実 行委員 会	九州各 県のチ ームが 参加す る <u>車椅子</u> バスケ トボ ールの 大会	(変更) (変更)
肥前地 区障害 者卓球 大会	3月	佐賀県 障がい 者卓球 協会	福岡県・ 佐賀県・ 長崎県・ <u>大分県</u> <u>の障害</u> <u>者、近</u> <u>隣中学</u> <u>校卓球</u> <u>部の生</u> <u>徒が参</u> <u>加する</u> 障害者 卓球大 会	肥前地 区障害 者卓球 大会	<u>3月中</u> <u>旬</u>	佐賀県 障がい 者卓球 協会	福岡県・ 佐賀県・ 長崎県 が参加 する障 害者卓 球大会	(削除) (追加)
佐賀県 卓球バ レー交 流 (クスノ キ杯)	3月末	佐賀県 卓球バ レー協 会	指導者 養成講 習会も 一緒に 行われ る	佐賀県 卓球バ レー交 流 (クスノ キ杯) 大会	3月末	佐賀県 卓球バ レー協 会	指導者 養成講 習会も 一緒に 行われ る卓球 バレー の大会	

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧	備考
大会			卓球バレーの大会		
<p>《P10》</p> <p>イ. 実施競技 (9 競技)</p> <p>陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング、フライングディスク、<u>ポッチャ</u>、卓球バレー、スポーツ<u>ウエルネス</u>吹矢</p> <p>ウ. 参加者数の推移</p> <p>佐賀県障害者スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会の参加者の推移（平成 <u>25</u> 年度～<u>令和 2</u> 年度）</p> <p><u>表の差替（H25～R2）</u></p> <p>※<u>第 12 回大会（H25）からスポーツ吹矢、卓球バレーを競技として新たに取り入れた。</u></p> <p>※<u>第 15 回大会（H28）の陸上競技は、悪天候により中止となった。</u></p> <p>※<u>第 18 回大会（R1）からポッチャを競技として新たに取り入れた。</u></p> <p>※<u>第 18 回大会（R1）の水泳競技は、会場の工事の関係上、中止となった。</u></p> <p>※<u>第 19 回大会（R2）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数が少なかった。</u></p>				<p>《P9》</p> <p>イ. 実施競技 (8 競技)</p> <p>陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング、フライングディスク、卓球バレー、スポーツ吹矢</p> <p>ウ. 参加者数の推移</p> <p>佐賀県障害者スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会の参加者の推移（平成 <u>19</u> 年度～平成 <u>28</u> 年度）</p> <p><u>表の差替（H19～H28）</u></p>	<p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p>
<p>《P11》</p> <p>エ <u>令和 2</u> 年度佐賀県障害者スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会大会への参加<u>申込</u>状況（競技別、障害別）</p>				<p>《P9》</p> <p>エ <u>平成 28</u> 年度佐賀県障害者スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会大会への参加状況（競技別、障害別）</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考
<p>令和 2 年度佐賀県障害者スポーツ大会 競技種目別・障害別エントリー数 <u>表の差替（令和 2 年度）</u> <u>※令和 2 年度全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</u></p>	<p>平成 28 年度佐賀県障害者スポーツ大会 競技種目別・障害別エントリー数 <u>表の差替（平成 28 年度）</u></p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p>
<p>令和 2 年度全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会競技種目別・障害別エントリー数 <u>表の差替（令和 2 年度）</u> ※2 大会ともに陸上競技、水泳、フライングディスクは、1 人 2 種目に出場することができるため、ウの参加者数とは一致しない。 <u>※令和 2 年度全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</u></p>	<p>平成 28 年度全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会競技種目別・障害別エントリー数 <u>表の差替（平成 28 年度）</u> ※2 大会ともに陸上競技、水泳、フライングディスクは、1 人 2 種目に出場することができるため、ウの参加者数とは一致しない。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p>
<p>《P12》 (3) 特別支援学校、作業所等でのスポーツの活動状況 (省略) <u>さらに、令和元年度に実施したスポーツに関するアンケート調査において、回答のあった特別支援学校や作業所等 69 団体のスポーツ活動状況は、次のとおりであった。</u></p>		<p>(追加)</p>
<p>① 特別支援学校 <u>特別支援学校では、体育の授業を中心として、ランニングや体づくり運動から水泳や各種球技等、学校ごとの障害特性に応じた幅広いスポーツに取り組んでいる。週 1 日以上の実施率は、94.3%と非常に高い</u></p>		

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考																
<p><u>水準である。</u></p> <p>② <u>作業所、施設等</u> <u>作業所、施設等では、ウォーキングやキャッチボールなど少人数でできるスポーツから</u> <u>バドミントン、ドッジボール、卓球バレーなどルールが明確なスポーツに取り組んでい</u> <u>る傾向にある。</u> <u>その反面、回答のあった作業所等の約 2 割の団体は、スポーツを行っていないという状況でもあった。</u></p> <p>《P13》 (4) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導員資格の取得状況</p> <p style="text-align: center;">県内の障がい者スポーツ指導員登録者数 (令和 2 年 3 月末現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種別</th> <th style="width: 25%;">資格概要</th> <th style="width: 20%;">受講資格</th> <th style="width: 40%;">県内の登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">初級</td> <td style="text-align: center;"><u>障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員。</u> <u>健康や安全管理に配</u></td> <td style="text-align: center;">満 18 歳以上の者。</td> <td style="text-align: center;"><u>182 人</u></td> </tr> </tbody> </table>	種別	資格概要	受講資格	県内の登録者数	初級	<u>障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員。</u> <u>健康や安全管理に配</u>	満 18 歳以上の者。	<u>182 人</u>	<p>《P11》 (4) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導員資格の取得状況</p> <p style="text-align: center;">県内の障がい者スポーツ指導員登録者数 (平成 28 年 10 月末現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種別</th> <th style="width: 25%;">資格概要</th> <th style="width: 20%;">受講資格</th> <th style="width: 40%;">県内の登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">初級</td> <td style="text-align: center;"><u>地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障害者に対し、ス</u> <u>ポーツの</u></td> <td style="text-align: center;"><u>受講年度の 4 月 1 日現在で</u> 18 歳以上の者。</td> <td style="text-align: center;"><u>131 人</u></td> </tr> </tbody> </table>	種別	資格概要	受講資格	県内の登録者数	初級	<u>地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障害者に対し、ス</u> <u>ポーツの</u>	<u>受講年度の 4 月 1 日現在で</u> 18 歳以上の者。	<u>131 人</u>	<p></p> <p style="text-align: center;">(変更)</p> <p style="text-align: center;">(変更)</p>
種別	資格概要	受講資格	県内の登録者数															
初級	<u>障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員。</u> <u>健康や安全管理に配</u>	満 18 歳以上の者。	<u>182 人</u>															
種別	資格概要	受講資格	県内の登録者数															
初級	<u>地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障害者に対し、ス</u> <u>ポーツの</u>	<u>受講年度の 4 月 1 日現在で</u> 18 歳以上の者。	<u>131 人</u>															

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
	<u>慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担う。</u>				<u>喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。</u>			
中級	<u>地域の障がい者スポーツ振興のリーダーとして、指導現場で十分な知識や経験に基づいた指導をする指導員。地域のスポーツ大会や行事において中心となり、地域の障がい者スポ</u>	初級障がい者スポーツ指導員資格を取得して2年以上経過している者で、かつ80時間以上の活動実績を有する者。又は、日本スポーツ協会公認指導者（コーチングアシスタント、スポ	<u>33</u> 人	中級	<u>地域における障害者スポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場で十分な知識・技術と経験に基づいた指導ができる者。</u>	初級障がい者スポーツ指導員資格を取得して2年以上経過している者で、かつ80時間以上の活動経験を有する者。又は、日本体育協会公認スポーツ指導員資格（スポーツリーダーを除	<u>30</u> 人	(変更)

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新				旧				備考
	<u>スポーツの普及・振興を進める役割を担う。</u>	<u>スポーツリーダー、スタートコーチを除く)のうち初期登録から3年以上経過している者。又は日本理学療法士協会会員の方。</u>				<u>く)を取得し、初期登録から3年以上の指導経験を有する者。</u>		
上級	<u>都道府県におけるリーダーとして、障がい者スポーツの高度な専門知識を持ち、地域の初級・中級指導員を取りまとめる立場を担う。</u>	<u>中級障がい者スポーツ指導員資格を取得して3年以上経過している者で、かつ120時間以上の活動実績を有する者。</u>	<u>7人</u>	上級	<u>県レベルのリーダーとして、指導現場では障害者スポーツの高度な専門知識を有し、指導技術と豊富な経験に基づいた指導と指導員を</u>	<u>中級障がい者スポーツ指導員資格を取得して3年以上経過している者で、かつ120時間以上の活動経験を有する者。</u>	<u>4人</u>	(変更)

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新			旧			備考
<p><u>地域の障がい者スポーツの普及・発展におけるキーパーソンとしての役割を担う。</u></p>			<p><u>取りまとめる指導的立場になる者。</u></p>			
<p>《P14》 2 (1) 組織体制の整備・充実 現状・課題 ◆ <u>障害者スポーツに取り組むチーム、選手が徐々に増えてきたものの、競技団体等におけるサポート体制や、指導体制が十分でない。</u> ◆ 障害者スポーツ競技の向上に携わる関係諸団体の役割を明確にするとともに、相互に協力し合うシステムづくりが必要。</p>			<p>《P12》 2 (1) 組織体制の整備・充実 現状・課題 ◆ <u>障害者スポーツに特化した競技団体が少なく、指導体制が十分でない。</u> ◆ 障害者スポーツ競技の向上に携わる関係諸団体の役割を明確にするとともに、相互に協力し合うシステムづくりが必要。</p>			(変更)
<p>《P15》 現状・課題 ◆ 個人競技や団体競技の選手発掘につながる取組が必要。 ◆ 団体競技は、<u>徐々にチーム結成が進んでいるものの、令和2年度時点でチーム未結成の競技が、3競技4種目</u>ある。 ◆ 特別支援学校では、障害の程度が多岐に渡るので、授業での取組は難しい。 ◆ 特別支援学校の生徒は、卒業後は生活維持が優先となり、競技を続けることが困難とな</p>			<p>《P13》 現状・課題 ◆ 個人競技や団体競技の選手発掘につながる取組が必要。 ◆ 団体競技は、チーム未結成の競技が、<u>ほとんど</u>である。 ◆ 特別支援学校では、障害の程度が多岐に渡るので、授業での取組は難しい。 ◆ 特別支援学校の生徒は、卒業後は生活維持が優先となり、<u>競技を止めてしまう傾向</u>がある。</p>			(変更) (変更)

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考
<p><u>る事例がある。</u></p> <p>《P16》 イ 特別支援学校、作業所等におけるチーム編成に向けた支援 特別支援学校や作業所等が授業やレクリエーションの中で、<u>未普及競技に取り組むことができる環境を整備する。</u></p> <p>③両競技選手共通の発掘・育成・強化 イ <u>育成指定</u>選手の認定 全障スポ佐賀大会の出場が見込まれる選手を「<u>SAGA2024 育成指定選手</u>」として認定し、佐賀県代表としての意識の高揚を図る。</p> <p>ウ 全国障害者スポーツ大会に向けた強化練習会の実施 選手の能力を更に向上させるため、<u>「SAGA2024 育成指定選手」の練習会</u>を実施する。</p> <p>《P20》 3 障害者スポーツ普及のための主なスケジュール <u>2023年度（R5）特別回 鹿児島（1年前）</u> <u>2024年度（R6）第23回 佐賀（開催年）</u> <u>2025（R7）年度以降</u> <u>※完成期の取組内容修正</u> <u>※定着期の変更</u></p>	<p>《P14》 イ 特別支援学校、作業所等におけるチーム編成に向けた支援 特別支援学校や作業所等が授業やレクリエーションの中で、<u>未普及競技に取り組んでもらえるような環境づくりに努める。</u></p> <p>③両競技選手共通の発掘・育成・<u>強化</u> イ <u>指定強化</u>選手の認定 全障スポ佐賀大会の出場が見込まれる選手を「<u>強化指定選手</u>」として認定し、佐賀県代表としての意識の高揚を図る。</p> <p>ウ 全国障害者スポーツ大会に向けた強化練習会の実施 選手の能力を更に向上させるため、<u>現在、強化練習会を行っている競技については、その内容を充実させるとともに、未普及競技も含めて、全種目において、強化練習会を実施する。</u></p> <p>《P18》 3 障害者スポーツ普及のための主なスケジュール <u>H35年度第23回 佐賀（開催年）</u> <u>H36以降</u></p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考
<p>《P21》 第4章 障害者スポーツ普及基本計画の推進体制 1 推進体制の組織図</p> <p>令和6年度国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県準備委員会</p> <p>佐賀県競技力向上推進本部</p> <p>障害者スポーツ普及委員会（19名）</p> <p>佐賀県競技力向上推進本部事務局（スポーツ課内）</p> <p>2 （2）新たな障害者スポーツ普及対策の立案と組織の充実 既実施の障害者スポーツ普及事業の成果や課題を検証し、必要に応じて基本計画の見直しを行うなど、現状に即した障害者スポーツの普及事業を立案する。 また、より効果的・効果的な障害者スポーツ普及事業を推進するにあたり、適宜、競技力向上推進本部の組織の充実を図る。</p>	<p>《P19》 第4章 障害者スポーツ普及基本計画の推進体制 1 推進体制の組織図</p> <p>平成35年度国民体育大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県準備委員会</p> <p>佐賀県競技力向上対策本部</p> <p>障害者スポーツ普及委員会（16名）</p> <p>佐賀県競技力向上対策本部事務局（スポーツ課内）</p> <p>2 （2）新たな障害者スポーツ普及対策の立案と組織の充実 既実施の障害者スポーツ普及事業の成果や課題を検証し、必要に応じて基本計画の見直しを行うなど、現状に即した障害者スポーツの普及事業を立案する。 また、より効果的・効果的な障害者スポーツ普及事業を推進するにあたり、適宜、競技力向上対策本部の組織の充実を図る。</p>	<p></p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p>
<p>《P22》 全国障害者スポーツ大会の概要 （1）大会の開催状況 全国障害者スポーツ大会は、平成13年度から、それまで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」が統合され、「全国障害者スポーツ大会」として、第1回大会が宮城県で開</p>	<p>《P20》 全国障害者スポーツ大会の概要 （1）大会の開催状況 全国障害者スポーツ大会は、平成13年度から、それまで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」が統合され、「全国障害者スポーツ大会」として、第1回大会が宮城県で開催さ</p>	<p></p> <p>（変更）</p>

障害者スポーツ普及基本計画新旧対照表

新	旧	備考																																																			
<p>催された。その後、大分県で開催された第 8 回大会から、精神障害者のバレーボールが正式種目に加わり、<u>身体障害者・知的障害者・精神障害者が一体となつて行う</u>、現在の形となった。</p> <p>開催年と開催県・開催予定県</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>開催年</th> <th>開催回数</th> <th>開催県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年</td> <td>第 19 回</td> <td>茨城県</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">台風のため中止</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年</td> <td>第 20 回</td> <td>鹿児島県</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症の影響により令和 5 年へ開催延期</td> </tr> <tr> <td>令和 3 年</td> <td>第 21 回</td> <td>三重県</td> </tr> <tr> <td>令和 4 年</td> <td>第 22 回</td> <td>栃木県</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年</td> <td>特別回</td> <td>鹿児島県</td> </tr> <tr> <td>令和 6 年</td> <td>第 23 回</td> <td>佐賀県</td> </tr> <tr> <td>令和 7 年</td> <td>第 24 回</td> <td>滋賀県</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 主催者 文部科学省、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、大会開催地の都道府県・指定都市及び区市町村、その他関係団体</p> <p>《P23》 (6) 開催県の大会参加状況及び成績 (平成 23 年～平成 30 年) <u>表 (平成 29 年、30 年のデータ) 追加</u></p>	開催年	開催回数	開催県	令和元年	第 19 回	茨城県	台風のため中止			令和 2 年	第 20 回	鹿児島県	新型コロナウイルス感染症の影響により令和 5 年へ開催延期			令和 3 年	第 21 回	三重県	令和 4 年	第 22 回	栃木県	令和 5 年	特別回	鹿児島県	令和 6 年	第 23 回	佐賀県	令和 7 年	第 24 回	滋賀県	<p>れた。その後、大分県で開催された第 8 回大会から、精神障害者のバレーボールが正式種目に加わり、現在の形となった。</p> <p>開催年と開催県・開催予定県</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>開催年</th> <th>開催回数</th> <th>開催県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 31 年</td> <td>第 19 回</td> <td>茨城県</td> </tr> <tr> <td>平成 32 年</td> <td>第 20 回</td> <td>鹿児島県</td> </tr> <tr> <td>平成 33 年</td> <td>第 21 回</td> <td>三重県</td> </tr> <tr> <td>平成 34 年</td> <td>第 22 回</td> <td>栃木県</td> </tr> <tr> <td>平成 35 年</td> <td>第 23 回</td> <td>佐賀県</td> </tr> <tr> <td>平成 36 年</td> <td>第 24 回</td> <td>滋賀県</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 主催者 文部科学省、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、大会開催地の都道府県・指定都市及び市町村、その他関係団体</p> <p>《P21》 (6) 開催県の大会参加状況及び成績 (平成 23 年～平成 28 年)</p>	開催年	開催回数	開催県	平成 31 年	第 19 回	茨城県	平成 32 年	第 20 回	鹿児島県	平成 33 年	第 21 回	三重県	平成 34 年	第 22 回	栃木県	平成 35 年	第 23 回	佐賀県	平成 36 年	第 24 回	滋賀県	<p>(追加)</p> <p>(変更) (追加)</p> <p>(変更) (追加)</p> <p>(変更) (変更) (変更) (変更) (追加)</p> <p>(変更) (追加)</p>
開催年	開催回数	開催県																																																			
令和元年	第 19 回	茨城県																																																			
台風のため中止																																																					
令和 2 年	第 20 回	鹿児島県																																																			
新型コロナウイルス感染症の影響により令和 5 年へ開催延期																																																					
令和 3 年	第 21 回	三重県																																																			
令和 4 年	第 22 回	栃木県																																																			
令和 5 年	特別回	鹿児島県																																																			
令和 6 年	第 23 回	佐賀県																																																			
令和 7 年	第 24 回	滋賀県																																																			
開催年	開催回数	開催県																																																			
平成 31 年	第 19 回	茨城県																																																			
平成 32 年	第 20 回	鹿児島県																																																			
平成 33 年	第 21 回	三重県																																																			
平成 34 年	第 22 回	栃木県																																																			
平成 35 年	第 23 回	佐賀県																																																			
平成 36 年	第 24 回	滋賀県																																																			

第3号議案 各種事業実施要領の改正（案）について

① 佐賀県強化拠点校支援事業 実施要領改正（案）について

新旧対照表

【改正理由】

推進本部の名称変更及び第78回国民スポーツ大会佐賀大会の1年延期のため。

新	旧	備考欄
<p>(目的)</p> <p><u>佐賀県競技力向上推進本部</u></p> <p>(指定期間)</p> <p>(1) 平成29年度～令和元年度</p> <p>(2) 令和2年度～令和6年度 ……</p> <p> -- 5年間</p>	<p>(目的)</p> <p><u>平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上対策本部</u></p> <p>(指定期間)</p> <p>(1) 平成29年度～平成31年度</p> <p>(2) 令和2年度～令和5年度 ……</p> <p> -- 4年間</p>	<p>(改正)</p> <p>(改正)</p>

佐賀県強化拠点校支援事業 実施要領改正（案）

1 目的

佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会（以下「佐賀国スポ」という。）において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、強化の拠点となる中学校及び高等学校を佐賀県強化拠点校（以下「拠点校」という。）に指定し、競技力の向上を図る。

2 拠点校の種類と内容

内容	種類	拠点校	
		指定校	推進校
対象校種		中学校及び高等学校	高等学校
位置付け		佐賀国スポを見据え、強化の主軸となる学校として指定	指定校に準ずる学校として指定
推進本部の支援	補助金	佐賀県強化拠点校（指定校）活動支援事業費	
		佐賀国スポ運動部活動等設立及び活動支援事業費	
	その他	競技力の向上を図る上で、推進本部が必要と認めるもの	

3 選定基準

国民スポーツ大会の正式競技に係る運動部を有する、若しくは新設する中学校及び高等学校のうち、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、別に定める「佐賀県強化拠点校選定要領」に基づき、推進本部が選定する。

- (1) 競技団体から推薦されている。
- (2) 佐賀県教育委員会が指定する「県立高等学校スポーツ推進指定校」に該当している。
- (3) 「わが町スポーツづくり」を推進又は施策化する会場地市町から推薦されている。
- (4) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

4 指定期間

次に掲げる期間とする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により延長又は短縮することがある。

- (1) 平成29年度～令和元年度 ----- 1年間
- (2) 令和2年度～令和6年度 ----- 5年間

② 佐賀県強化拠点地域支援事業 実施要領改正（案）について

新旧対照表

【改正理由】

推進本部の名称変更及び第78回国民スポーツ大会佐賀大会の1年延期のため。

新	旧	備考欄
<p>(目的)</p> <p><u>佐賀県競技力向上推進本部</u></p> <p>「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.2.0」</p> <p>(指定期間)</p> <p>指定期間は、原則として令和<u>6</u>年度までとする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により短縮することがある。</p>	<p>(目的)</p> <p><u>平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会佐賀県競技力向上対策本部</u></p> <p>「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.1.0」</p> <p>(指定期間)</p> <p>指定期間は、原則として令和<u>5</u>年度までとする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により短縮することがある。</p>	<p>(改正)</p> <p>(改正)</p> <p>(改正)</p>

佐賀県強化拠点地域支援事業 実施要領改正（案）

1 目的

佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会（以下「佐賀国スポ」という。）において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を取めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.2.0」第3章-2-(2)-①-エに基づき、競技毎に強化を図っていく特定の地域を佐賀県強化拠点地域（以下「拠点地域」という。）に指定し、少年種別選手の競技力の向上を図る。

2 拠点地域に対する支援

項目	内容	
強化費の交付	交付先	拠点地域で活動しているクラブチーム。
	対象経費	強化活動に要する経費。
指導者の適正配置	専門性の高い優秀な指導者が、拠点地域内に配置されるよう努める。	

3 選定方法

国民スポーツ大会の正式競技に係るクラブチームを有する地域のうち、当該競技団体の強化を図る意向と合致し、且つ次のいずれかの条件を満たす場合に限り、原則として1競技(種目)につき1地域(クラブチーム)を選定する。

- (1) 中学校に部活動がない競技(種目)の中で、一定の地域を拠点として活動がなされている。
- (2) 「わが町スポーツづくり」を推進又は施策化する会場地市町から推薦されている。
- (3) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

4 指定期間

指定期間は、原則として令和6年度までとする。ただし、競技成績や地域性、会場地市町の情勢等により短縮することがある。

③ 佐賀県強化企業チーム支援事業 実施要領改正（案）について

新旧対照表

【改正理由】

推進本部の名称変更及び第78回国民スポーツ大会佐賀大会の1年延期のため。

新	旧	備考欄
<p>(目的) 佐賀県競技力向上推進本部</p> <p>「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.2.0」</p> <p>(指定期間) 指定期間は、原則として令和6 年度までとする。</p> <p>(選定方法) 新たな企業チームの指定は、令和3 年度までとする。</p>	<p>(目的) 国民スポーツ大会・全国障害者スポ ーツ大会佐賀県競技力向上推進本部</p> <p>「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.1.0」</p> <p>(指定期間) 指定期間は、原則として平成35 年度（2023年度）までとする。</p> <p>(選定方法) 新たな企業チームの指定は、平成32 年度（2020年度）までとする。</p>	<p>(改正)</p> <p>(改正)</p> <p>(改正)</p> <p>(削除)</p> <p>(改正)</p> <p>(削除)</p>

佐賀県強化企業チーム支援事業 実施要領改正（案）

1 目的

佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、「佐賀県競技力向上基本計画 Ver.2.0」第3章-2-(2)-②-アに基づき強化企業チームを指定し、企業に所属するチームや選手が国民体育大会・国民スポーツ大会に出場するための強化活動を支援することで、成年種別選手の競技力向上を図る。

2 強化企業チームに対する支援

項目	内容	
強化費の交付	交付先	国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に参加するために活動している企業チーム。
	対象経費	強化活動に要する経費。
成年種別選手の確保	国民体育大会・国民スポーツ大会（九州ブロック大会を含む）に出場する、優秀な選手を確保できるよう努めていく。	

※企業チームとは、強化活動に係る費用を企業が負担しているチームをいう。

3 指定期間

指定期間は、原則として令和6年度までとする。なお、国民体育大会・国民スポーツ大会に出場しない場合や「4-(1)、(2)」に該当しない場合は短縮することがある。

4 選定方法

国民体育大会・国民スポーツ大会の正式競技に取り組んでいる企業チームのうち、当該競技団体の強化を図る意向と合致し、当該競技団体の推薦を受け、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、原則として1競技（種別）につき1企業チームを強化企業チームに指定する。なお、新たな強化企業チームの指定は、令和3年度までとする。

- (1) 前年度もしくは当該年度国民体育大会（九州ブロック大会を含む）において、当該競技（種別）にエントリーされている監督・選手のうち、当該企業チーム所属の者が1/2以上いること。
- (2) その他、推進本部が特別に必要と認めるもの。

④ ジュニア・アスリート支援事業 実施要領改正(案)について

新旧対照表

【改正理由】

- ・支援対象を広げることにより、鹿児島大会及び佐賀大会において、更なる躍進を図るため。
- ・但し書きの要件は、強化指定選手の認定要件に加えるため。

新	旧	備考欄
<p>3 対象者</p> <p>佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）が当該年度に認定した強化指定選手のうち、次に掲げるいずれかの要件を満たす者とする。ただし、原則、佐賀県内の学校に在籍していない者は支援対象としない。</p> <p>(1) 2023国体において、原則、各競技の少年種別最高学年の選手。</p> <p>(2) 2024国スポにおいて、原則、各競技の少年種別最高学年の選手及びその一学年下の選手。</p> <p>(3) その他推進本部が特別に必要と認めるもの。</p>	<p>3 対象者</p> <p>佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）が当該年度に認定した強化指定選手のうち、次に掲げるいずれかの要件を満たす者とする。ただし、原則、佐賀県内の学校に在籍していない者は支援対象としない。</p> <p>(1) 2023国体において、原則、各競技の少年種別最高学年の選手。</p> <p>(2) 2024国スポにおいて、原則、各競技の少年種別最高学年の選手。</p> <p>(3) その他推進本部が特別に必要と認めるもの。</p>	<p>(削除)</p> <p>(追加)</p>

ジュニア・アスリート支援事業 実施要領改正(案)

1 事業目的

2023年開催の国民体育大会（以下「2023国体」という。）、2024年開催の国民スポーツ大会（以下「2024国スポ」という。）を目指す選手に強化支援を実施することにより、選手の競技活動の充実及び本県の両大会での躍進を図る。

2 事業内容

競技活動に要する経費として、一人当たり年額10万円の支援金を交付する。
ただし、対象者が中学2年生になる年度から交付する。

3 対象者

佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）が当該年度に認定した強化指定選手のうち、次に掲げるいずれかの要件を満たす者とする。

- (1) 2023国体において、原則、各競技の少年種別最高学年の選手。
- (2) 2024国スポにおいて、原則、各競技の少年種別最高学年の選手及びその一学年下の選手。
- (3) その他推進本部が特別に必要と認めるもの。

4 事業期間

令和2年度から令和6年度まで。

ジュニア・アスリート支援金交付一覧表

「○」は交付あり *交付は中学2年生になる年度から開始。

「×」は交付なし

「 」は最高学年

【支援対象学年表（通常種目）】

※参加資格のある学年・・・高校3年生～高校1年生

	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	中学3年生 ○	高校1年生 ○	高校2年生 ○	高校3年生 ○	
	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○	高校2年生 ○	高校3年生 ○
追加	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○	高校2年生 ○

【支援対象学年表（サッカー、バスケットボール）】

※参加資格のある学年・・・高校2年生早生まれ～中学3年生

	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	中学2年生早○	中学3年生早○	高校1年生早○	高校2年生早○	
	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○	高校2年生早○
	小学6年生 ×	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○
追加	小学5年生 ×	小学6年生 ×	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○

*高2早生と高1を合わせて最高学年とする

【支援対象学年表（陸上少年B、水泳少年B）】

※参加資格のある学年・・・高校1年生～中学3年生

	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○	
	小学6年生 ×	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○
追加	小学5年生 ×	小学6年生 ×	中学1年生 ×	中学2年生 ○	中学3年生 ○

【支援対象学年表（冬季種目）】

※参加資格のある学年・・・高校3年生～高校1年生

※鹿児島冬季

※佐賀冬季

	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	高校1年生 ○	高校2年生 ○	高校3年生 ○		
	中学3年生 ○	高校1年生 ○	高校2年生 ○	高校3年生 ○	
追加	中学2年生 ○	中学3年生 ○	高校1年生 ○	高校2年生 ○	

*冬季大会は前年度に開催（1～2月開催）のため

第4号議案

令和3年度事業計画（案）について

1. 国民体育大会・国民スポーツ大会

(1) 会議等の開催

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
本部会議の開催	競技力向上に係る基本的・総合的な事項の審議・決定を行う。	第11回 7月3日(金) 第12回 3月25日(木)開催	7月・3月
国スポ選手強化対策委員会の開催	競技力向上に関する調査・決定を行う。	第14回 10月29日(水)開催 第15回 2月上旬 書面開催	10月・2月
専門委員会の開催	国スポの競技力向上に関する事業方法を協議する。	第11回 8月19日(水) 第12回 1月27日(水)開催	8月・1月

(2) 佐賀国スポ選手強化事業

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
選手育成事業	各競技団体が、国スポをはじめとする最高峰の大会において入賞者を輩出するために実施する強化練習等に要する経費に対し、補助を行う。	・各競技団体における競技力向上事業を実施。	4月～3月
運動部活動等設立支援事業	運動部活動等の設立に要する経費に対して補助し、練習環境を整備することで、少年選手の確保や育成、強化を図る。	・令和2年度については、設立部は無し。活動支援費のみ補助。	必要に応じて
選手支援事業	原則、県外から県内の学校に進学した選手及び県内の選手の中で、特に活躍が期待される選手を指定し、その活動を支援することで、少年選手の競技力向上を図る。	・76名の高校生、中学生選手に、スポーツ奨学金を交付。	4月～3月 SSP推進グループ事業に移行(拡充)
SEAS支援対象選手及び強化指定選手・ネクスト選手認定事業	全国レベルや世界レベルで活躍する可能性のある選手をSEASの支援対象選手とし、かつ主力となり得る選手については強化指定選手として認定するなど、「オール佐賀」としての意識の高揚を図るため、「認定証交付式」を実施する。	・認定証交付式は中止。 994名の指定選手に認定証と認定Tシャツを配布。	7月
ジュニア・アスリート支援事業	国民体育大会(鹿児島大会)の開催延期を受け、2023年の国民体育大会、2024年の国民スポーツ大会を目指す選手に強化支援(活動支援金の交付)を実施することにより、選手の競技活動の充実及び本県の両大会での躍進を図る。	・2023年の国民体育大会、2024年の国民スポーツ大会を目指す少年種別選手に対し、活動支援金を交付。	4月～3月 ※R2新規事業
ターゲットエイジ選手発掘事業	県内の民間施設とタイアップしたスポーツ体験教室等の開催や、学校等への出前講座を実施し、子供たちにさまざまなスポーツに触れる機会を提供することで、ターゲットエイジ選手の発掘につなげる。	【ホッケー競技】 ・中学校での体験会を実施。 【ウエイトリフティング競技】 ・中学校での体験会を実施。 【自転車競技】 ・中学校での体験会を実施。	※R3より選手育成事業に統合
トライアウト開催事業	選手の適性(潜在能力)を再発見し、より高い競技パフォーマンスが期待できる競技・種目に転向するための選考会(トライアウト)を実施し、国民スポーツ大会における入賞を目指す選手を発掘する。	①9月20日(日)佐賀会場 ②11月1日(日)鳥栖会場 ③12月6日(日)唐津会場 ④12月20日(日)武雄会場 で実施	9月～3月 SSP推進グループ事業と統合
強化拠点校支援事業	国スポにおける総合成績を高めていくためには、少年種別の競技力向上が不可欠であるため、現状又は将来性を分析した各競技団体の推薦に基づき、強化の拠点となる高校及び中学校を指定し、その強化活動を支援することで、少年種別のレベルアップを図る。	・指定校運動部に活動支援費を交付。 【高等学校】 ・指定校 32校95運動部(30競技) 【中学校】 ・指定校 10校14運動部(4競技)	4月～3月
強化拠点地域支援事業	中学校に運動部活動がない競技(種目)で、クラブチームを有する地域のうち、その競技が地域に根付き強化の拠点となっている地域(クラブチーム)を指定し、その強化活動を支援することで、ジュニア層のレベルアップを図る。	・27地域(クラブ)に活動支援費を交付。 (競技:水泳、サッカー、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、銃剣道、アーチェリー、カヌー、ボウリング、なぎなた)	4月～3月
強化企業チーム支援事業	国体・国スポの正式競技に取り組んでいる企業チームのうち、主体的に活動する企業チームを指定し、その強化活動を支援することで、成年選手のレベルアップを図る。	・7企業チームに活動支援費を交付。 (競技:バレーボール、ハンドボール、ソフトボール、バスケットボール、軟式野球、相撲)	4月～3月
佐賀県中学校体育連盟支援事業	佐賀国スポに向けた選手強化について中学生の育成が重要であることから、県中体連専門部及び各地区の中体連専門部が実施する強化練習会や遠征等に要する経費を補助する。	・地区中体連及び中体連専門部に補助金を交付。地区中体連及び中体連専門部において、普及・育成・強化及び指導者の資質向上事業を実施。	4月～3月

(3)佐賀国スポ指導者養成事業

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
指導者招聘事業	国内外の優れた指導者を招聘し、一定期間又は複数回にわたり、指導者や選手を対象とした講習会等を実施する経費に対し補助を行う。	・各競技団体でトップアドバイザーを招聘。 サッカー：クルスティアン・ガナ氏・影山雅永氏 ボウリング：山下知且氏 等 30競技	4月～3月 (県スポ協実施)
指導者研修事業	有望な指導者を(公財)日本スポーツ協会等が実施する研修会や講習会、又は個別研修に派遣する経費に対し、補助を行う。	・(公財)日本スポーツ協会公認コーチ研修会参加 ・中央競技団体による研修会等参加	4月～3月 (県スポ協実施)
強化指定コーチ・トップコーチ認定事業	優れた指導力を有する指導者を「強化指定コーチ」に、その中から特に優れた指導者を「トップコーチ」に認定。指導者が、より高い意識と使命感を持って指導に取り組み、併せて、指導環境を充実させる。	・R3より強化指定コーチ・トップコーチを認定	4月～3月 ※R2新規事業
スポーツアドバイザー配置事業	指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、指導体制を充実させるため、スポーツアドバイザーを配置する。	・剣道競技においてスポーツアドバイザーによる指導を実施。少年層の競技力向上を図り、錬成会等を実施。	4月～3月

(4)佐賀国スポトレーナー等養成事業

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
スタッフ育成事業	スポーツトレーナー等を(公財)日本スポーツ協会等が実施する専門の研修会や講習会、又は個別研修に派遣する経費に対し、補助を行う。	・(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー要請講習会参加	4月～3月 (県スポ協実施)

(5)佐賀国スポ環境整備事業

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
競技用具等購入事業	競技力向上に資する用具を計画的に整備し、各競技団体の強化活動がより効率的かつ効果的に実施されるよう支援する。	競技用具購入、競技団体への貸付。 ・ボート：シングルスカル、スカルオール ・カヌー：スプリントカヤックシングル、スラローム 他8競技(体操、ライフル射撃、自転車、フェンシング、ウエイトリフティング、クレイ射撃、バレーボール、ソフトボール)	必要に応じて

参考事業(県補助事業(県スポ協実施))

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
スポーツエリートアカデミー事業	○一流指導者等活用長期育成プログラム ・指導実績の高い指導者を、年間5回以上、佐賀に招聘し、選手強化と指導者支援を充実 ○専門家サポート活用・スタディツアープログラム ・動作解析、メンタル、医科学等専門家のサポートを導入、全国大会等の視察による意識付け	○一流指導者長期継続招聘事業 陸上、サッカー、ホッケー、バレーボール、バスケットボール、レスリング、ソフトテニス、馬術、柔道、フェンシング、バドミントン、ライフル射撃、剣道、ラグビー、スポーツクライミング、クレイ射撃、空手道、ボウリング、なぎなた、体操(新体操)、障害者スポーツ ○専門家サポート、スタディツアー 陸上、テニス、ボクシング、バレーボール、レスリング、ソフトテニス、卓球、馬術、柔道、フェンシング、バドミントン、剣道、ラグビー、スポーツクライミング、空手道、なぎなた、体操(新体操)、障害者スポーツ	4月～3月

2. 全国障害者スポーツ大会

(1) 会議等の開催

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
障害者スポーツ普及委員会 の開催	障害者スポーツ普及に関する調査・決定を行う。	第11回 11月9日(月) 第12回 2月 書面開催	11月・2月
競技団体連絡会の開催	団体競技の普及に関する検討を行う。	第1回 8月4日(火)開催 第2回 3月下旬 開催予定	8月・3月

(2) 全国障害者スポーツ大会選手等育成強化事業

取組	R3 取組内容	R2 実施状況	実施時期
選手発掘事業 (旧: 団体競技選手発掘・育成事業 + 旧: 個人競技選手発掘・育成事業)	体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行い、令和6年佐賀大会において、団体競技の全競技種目出場及び個人競技での多くのメダル獲得を目指すとともに、競技力の向上を図る。		4月～3月
団体競技選手発掘・育成事業		・5競技を4地区で計17回実施予定。延べ162名の障害者が参加(3月8日時点)。	4月～3月 (選手発掘事業に移行・統合)
個人競技選手発掘・育成事業		・6競技を3地区で計16回実施予定。延べ90名の障害者が参加(3月8日時点)。	4月～3月 (選手発掘事業に移行・統合)
競技活動支援事業 (旧: 団体・個人競技チーム活動支援事業)	競技力の向上を図るため、団体・個人競技チームへの活動費の支援を行う。	・団体競技8チームに活動費を補助。 ・個人競技2チームに活動費を補助。	4月～3月
団体競技チーム競技力向上事業	団体競技の競技力向上を図るため、団体競技の大会を開催する。 SAGA2024におけるオープン競技候補種目の事前大会運営経費を補助することで障害者スポーツの普及を図る。	・2大会の開催費を補助。 ①グランドソフトボール 西九州グランドソフトボール大会 @白石町 ②バレーボール(精神) 精神バレーボール大会 @基山町	4月～3月
選手育成事業 (旧: 育成指定選手の認定事業)	令和6年佐賀大会に出場が見込まれる選手を育成指定選手として認定し、競技力の向上を図るための練習会を開催する。	・団体競技7競技104名、個人競技7競技76名、計180名を育成指定選手として認定し認定証・認定Tシャツを交付。 ・本年度より、認定選手の選定は各競技団体から推薦のあった者とした。	9月
広報活動事業	大会の認知度向上を図り、選手発掘へとつなげるための広報を行う。	・11/23に開催された「体験しよう! 障がい者スポーツフェスタ2020in小城」等において、選手募集のチラシを配布。その他、ホームページ開設の準備を行った。	4月～3月
指導者養成事業	障がい者スポーツ指導員を養成するため、資格講習会の受講料補助を行う。また、指導力向上を図るため、団体競技の指導者を全国大会へ派遣する。	・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会受講者31名に受講料を補助。 ・新型コロナウイルスの影響により、全国大会開催延期となったため、派遣なし。	4月～2月
障害者スポーツ環境整備事業 (旧: 団体競技普及事業)	団体競技及び個人競技の未普及競技に取り組んでもらうため、特別支援学校等で購入された競技用具の買替や修繕・購入費用の補助を行う。	・特別支援学校5校に用具購入を補助。	4月～3月

第5号議案

令和3年度収支予算（案）について

1 収入

(単位:千円)

科目	R3年度 当初予算額	R2年度 現計予算額	比較(R3-R2)	備考
負担金	466,020	334,867	131,153	佐賀県負担金
繰越金	5,356	28,263	△ 22,907	繰越金
雑収入	2	2	0	利息収入等
計	471,378	363,132	108,246	

2 支出

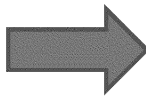
(単位:千円)

大科目	小科目	事業名	R3年度 当初予算額	R2年度 現計予算額	比較(R3-R2)	
国民体育大会	事業費		456,400	354,761	101,639	
			452,328	350,810	101,518	
		選手強化	選手育成事業	266,007	196,246	69,761
			運動部活動等設立支援事業	3,500	3,000	500
			選手支援事業(奨学金)	0	20,614	△ 20,614
			強化指定選手認定事業	6,474	3,379	3,095
			ジュニア・アスリート支援事業	60,000	21,000	39,000
			ターゲットエイジ選手発掘事業	0	1,050	△ 1,050
			トライアウト開催事業	0	0	0
			強化拠点校支援事業	35,480	32,116	3,364
			強化拠点地域支援事業	13,800	13,180	620
			強化企業チーム支援事業	4,500	4,500	0
			佐賀県中学校校体育連盟支援事業	6,000	6,000	0
		指導者養成	指導者招聘事業	27,309	15,887	11,422
			指導者研修事業	10,723	3,293	7,430
			強化指定コーチ・トップコーチ認定事業	208	0	208
			スポーツアドバイザー配置事業	3,529	3,529	0
		※ナトレ成等!	スタッフ育成事業	2,335	558	1,777
		整備環境	競技用具等購入事業	12,463	26,458	△ 13,995
		事務局費		4,072	3,951	121
全国障害者スポーツ大会	事業費		14,978	8,371	6,607	
			14,460	7,676	6,784	
		選手育成	選手発掘事業 (旧:団体競技選手発掘・育成事業+旧:個人競技選手発掘・育成事業)	1,572	1,305	267
			競技活動支援事業 (旧:団体・個人競技チーム活動支援事業)	2,258	1,504	754
			団体競技チーム競技力向上事業	2,104	850	1,254
			選手育成事業 (旧:育成指定選手の認定事業)	3,436	958	2,478
			広報活動事業	3,538	2,817	721
		養成指導	指導者養成事業	393	140	253
		整備環境	障害者スポーツ環境整備事業 (旧:団体競技普及事業)	1,159	102	1,057
		事務局費		518	695	△ 177
	計		471,378	363,132	108,246	

第6号議案

令和3年度佐賀県強化拠点校の設置(案)について

R2 高等学校〔指定校〕32校95運動部(30競技)
 中学校〔指定校〕10校14運動部(4競技)



R3 高等学校〔指定校〕31校95運動部(30競技)
 中学校〔指定校〕9校16運動部(5競技)

【 競技別 】

NO	競技	種目	高等学校				中学校			
			指定校				指定校			
			NO	性別	校名	新規	NO	性別	校名	新規
1	水泳	競泳	1	男	佐賀商業					
			2	男	佐賀学園					
			3	女	佐賀商業					
			4		佐賀学園					
		飛込	5	女	致遠館					
		水球	6	男	佐賀東					
			7	女						
2	ボート		8	男	唐津東					
			9		唐津西					
			10	女	唐津東					
			11		唐津西					
3	セーリング		12	男	唐津西					
			13		唐津工業					
			14	女	唐津西					
4	陸上		15	男	佐賀工業					
			16		鳥栖工業					
			17	女	佐賀北					
			18		佐賀清和					
5	サッカー		19	男	佐賀東					
			20	女	神埼					
6	テニス		21	男	敬徳					
			22	男	早稲田佐賀					
			23	女	鳥栖商業					
			24		佐賀商業					
7	ホッケー		25	男	伊万里実業					
			26	女						
8	ボクシング		27	男	高志館					
			28		白石					
			29	女	白石					
			30		高志館					
9	バレーボール		31	男	佐賀商業					
			32		佐賀学園					
			33	女	佐賀清和					
			34		鳥栖商業					
10	体操	競技	35	男	鳥栖工業		1	男	鳥栖	
			36	女	鳥栖		2	女	鳥栖	
							3		田代	
		新体操	37	男	神埼清明					
			38	女	佐賀女子					
39	佐賀北									
11	バスケットボール		40	男	佐賀北		4	男	成章	
			41		佐賀東		5	女	昭栄	
			42	女	佐賀北		6		城西	
			43		佐賀清和					
12	レスリング		44	男	鳥栖工業					
			45		鹿島					

NO	競技	種目	高等学校				中学校			
			指定校				指定校			
			NO	性別	校名	新規	NO	性別	校名	新規
13	ウエイトリフティング	46	男	有田工業						
		47	女							
14	ハンドボール	48	男	佐賀清和		7	男	神埼		
		49		神埼清明		8		東原摩舎中央校		
		50	女	神埼清明		9	女	神埼		
		51		佐賀清和		10		東原摩舎中央校		
15	自転車	52	男	龍谷						
16	ソフトテニス	53	男	嬉野						
		54		佐賀工業						
		55	女	佐賀清和						
		56		嬉野						
17	卓球	57	男	北陵						
		58		敬徳						
		59	女	佐賀商業						
		60		敬徳						
18	相撲	61	男	多久						
19	柔道	62	男	佐賀商業						
		63		佐賀工業						
		64	女	佐賀商業						
		65		小城						
20	ソフトボール	66	男	牛津						
		67	女	佐賀女子						
		68		鹿島						
21	フェンシング	69	男	佐賀商業						
		70	女							
22	バドミントン	71	男	唐津南						
		72	女	佐賀女子						
23	弓道					11	男	武雄青陵	○	
						12	女	武雄青陵	○	
23	ライフル射撃	73	男	佐賀学園						
		74	女	佐賀学園						
24	剣道	75	男	龍谷		13	男	神埼	○	
		76		敬徳		14		大和	○	
		77	女	三養基		15	女	大和	○	
		78		佐賀学園		16		神埼		
25	ラグビーフットボール	79	男	佐賀工業						
		80	女							
26	スポーツライティング	81	男	多久						
		82		佐賀工業						
		83	女	多久						
27	空手道	84	男	佐賀東						
		85		龍谷						
		86	女	佐賀北						
		87		龍谷						
28	アーチェリー	88	男	高志館						
		89	女	高志館						
29	カヌー	90	男	神埼						
		91		鳥栖工業						
		92	女	鳥栖工業						
		93		伊万里実業						
30	なぎなた	94	女	佐賀東						
		95		牛津						

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校			
		NO	性別	競技	種目
1	佐賀東	1	男	水泳	水球
		2	女		
		3	男	サッカー	
		4	男	バスケットボール	
		5	男	空手道	
		6	女	なぎなた	
2	佐賀北	7	女	陸上	
		8	女	体操	新体操
		9	男	バスケットボール	
		10	女		
		11	女	空手道	
3	致遠館	12	女	水泳	飛込
4	唐津東	13	男	ボート	
		14	女		
5	唐津西	15	男	ボート	
		16	女		
		17	男	セーリング	
		18	女		
6	鳥栖	19	女	体操	競技
7	鹿島	20	男	レスリング	
		21	女	ソフトボール	
8	神埼	22	女	サッカー	
		23	男	カヌー	
9	三養基	24	女	剣道	
10	小城	25	女	柔道	
11	白石	26	男	ボクシング	
		27	女	ボクシング	
12	唐津南	28	男	バドミントン	
13	高志館	29	男	ボクシング	
		30	女		
		31	男	アーチェリー	
		32	女		
14	佐賀工業	33	男	陸上	
		34	男	ソフトテニス	
		35	男	柔道	
		36	男	ラグビーフットボール	
		37	女		
		38	男	スポーツクライミング	
15	唐津工業	39	男	セーリング	
16	鳥栖工業	40	男	陸上	
		41	男	体操	競技
		42	男	レスリング	
		43	男	カヌー	
		44	女	カヌー	

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校			
		NO	性別	競技	種目
17	有田工業	45	男	ウエイトリフティング	
		46	女		
18	佐賀商業	47	男	水泳	競泳
		48	女		
		49	女	テニス	
		50	男	バレーボール	
		51	女	卓球	
		52	男	柔道	
		53	女		
		54	男	フェンシング	
55	女				
19	鳥栖商業	56	女	テニス	
		57	女	バレーボール	
20	伊万里実業	58	女	カヌー	
		59	男	ホッケー	
		60	女		
21	牛津	61	男	ソフトボール	
		62	女	なぎなた	
22	神埼清明	63	男	体操	新体操
		64	男	ハンドボール	
		65	女		
23	多久	66	男	相撲	
		67	男	スポーツライミング	
		68	女		
24	嬉野	69	男	ソフトテニス	
		70	女	ソフトテニス	
25	龍谷	71	男	自転車	
		72	男	剣道	
		73	男	空手道	
		74	女	空手道	
26	佐賀清和	75	女	陸上	
		76	女	バレーボール	
		77	女	バスケットボール	
		78	男	ハンドボール	
		79	女		
		80	女	ソフトテニス	
27	佐賀女子	81	女	体操	新体操
		82	女	ソフトボール	
		83	女	バドミントン	
28	佐賀学園	84	男	水泳	競泳
		85	女		
		86	男	バレーボール	
		87	男	ライフル射撃	
		88	女	ライフル射撃	
		89	女	剣道	
29	北陵	90	男	卓球	
30	敬徳	91	男	テニス	
		92	男	卓球	
		93	女		
		94	男	剣道	
31	早稲田佐賀	95	男	テニス	

【 学校別:中学校 】

NO	校名	指定校				
		NO	性別	競技	種目	新規
1	東原庵舎中央校	1	男	ハンドボール		
		2	女	ハンドボール		
2	成章	3	男	バスケットボール		
3	昭栄	4	女	バスケットボール		
4	城西	5	女	バスケットボール		
5	鳥栖	6	男	体操	競技	
		7	女	体操	競技	
6	田代	8	女	体操	競技	
7	神埼	9	男	ハンドボール		
		10	女	ハンドボール		
		11	男	剣道		○
		12	女	剣道		
8	大和	13	男	剣道		○
		14	女	剣道		○
9	武雄青陵	15	男	弓道		○
		16	女	弓道		○

第7号議案

令和3年度 佐賀県強化拠点地域の設置(案)について

R2拠点地域 27クラブ

R3拠点地域 28クラブ

NO	競技(種目)名	クラブ名	性別	活動地域	新規
1	水泳(飛込)	佐賀ダイビングクラブ	男・女	佐賀市	
2	水泳(水球)	佐賀水球クラブ 葉隠Rex	男	佐賀市	
3	ヨット	玄海セーリングクラブ	男・女	唐津市	○
4	サッカー	サガン鳥栖 U-15	男	鳥栖市	
5		みやきなでしこクラブ	女	みやき町	○
6	ホッケー	伊万里ホッケークラブ	男・女	伊万里市	
7	バレーボール	唐津ビーチバレークラブ	男・女	唐津市	
8	体操(新体操)	(一社)神埼ジュニア新体操クラブ	男	神埼市	
9	体操(新体操)	かささぎRG	女	佐賀市	
10	レスリング	鳥栖レスリングクラブ	男・女	鳥栖市	
11		鹿島レスリングクラブ	男・女	鹿島市	
12	ウェイトリフティング	佐賀ウェイトリフティングクラブ	男・女	佐賀市	
13	自転車	佐賀県競輪選手愛好会	男・女	武雄市	
14	相撲	北方相撲クラブ	男	武雄市	
15	馬術	チームひがしせふり	男・女	吉野ヶ里町	
16		佐賀ジュニア乗馬クラブ	男・女	佐賀市	○
17	フェンシング	佐賀ジュニアフェンシングクラブ	男・女	佐賀市	
18	バドミントン	佐賀サンライズバドミントンクラブ	男・女	佐賀市	
19		BSM	男・女	唐津市	
20	ラグビーフットボール	佐賀ウイメンズラグビーフットボールクラブ	女	佐賀市	
21	スポーツクライミング	佐賀ユースクライミングクラブ	男・女	多久市	
22	銃剣道	大河塾	男	大町町	
23	アーチェリー	佐賀ジュニアアーチェリークラブ	男・女	佐賀市	
24		唐津ジュニアアーチェリークラブ	男・女	唐津市	
25	カヌー	神埼ジュニアカヌークラブ	男・女	神埼市	
26	ボウリング	佐賀ジュニアボウリングクラブ	男・女	佐賀市	
27	なぎなた	嬉野なぎなたクラブ	女	嬉野市	
28		佐賀東ジュニアなぎなたクラブ	女	佐賀市	

※ボクシング競技:R3年度より拠点地域での強化から選抜での強化に移行するため、拠点地域を廃止(吉永ボクシングジム)。

※R2年度指定のサッカー競技「アレグリアカミーニョ」から、R3年度は「みやきなでしこクラブ」への推薦変更。

第8号議案

令和3年度佐賀県強化指定コーチ・トップコーチの 認定（案）について

佐賀県強化指定コーチ・トップコーチ認定事業 実施要領

1 目的

佐賀県競技力向上推進本部（以下「推進本部」という。）は、第78回国民スポーツ大会において、県民の期待に応え、佐賀らしい戦い方で開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指して、「佐賀県競技力向上基本計画 Ver. 1.0」第3章-2-(3)-①-オに基づき、専門競技種目において優れた指導力を有する指導者を「強化指定コーチ」に、その中から、特に選手強化全般を統括する指導者を「トップコーチ」に認定することにより、指導者がより高い意識と使命感を持って指導に取り組み、併せて、指導環境をさらに充実させることで、競技力の向上を図る。

2 事業内容

- (1) 「強化指定コーチ」・「トップコーチ」の認定及び認定証の交付
- (2) 所属先等への協力依頼

3 選定方法

- (1) 強化指定コーチ
専門競技種目において優れた指導力を有し、佐賀国スポにおいて各種別の監督・コーチとして指導にあたる者の中から競技団体が推薦。
- (2) トップコーチ
強化指定コーチの中から、特に優れた指導実績を有する者で、選手強化全般を統括する指導者を推進本部が認定。

4 指定期間

指定期間は、原則として令和6年度までとする。ただし、本人の事情や競技団体の意向等により短縮することがある。

競技別推薦一覧

	競技		強化指定コーチ	計
1	水泳	競泳	4	8
		水球	2	
		飛込	2	
2	ボート		2	2
3	セーリング		6	6
4	陸上		5	5
5	サッカー		6	6
6	テニス		5	5
7	ホッケー		6	6
8	ボクシング		6	6
9	バレーボール	6人制	2	7
		ビーチ	5	
10	体操	競技	5	8
		新体操	2	
		トランポリン	1	
11	バスケットボール		4	4
12	レスリング		4	4
13	ウエイトリフティング		3	3
14	ハンドボール		1	1
15	自転車		4	4
16	ソフトテニス		6	6
17	卓球		4	4
18	軟式野球		0	0
19	相撲		4	4
20	馬術		2	2
21	柔道		6	6
22	ソフトボール		4	4
23	フェンシング		2	2
24	バドミントン		0	0
25	弓道		3	3
26	ライフル射撃		5	5
27	剣道		6	6
28	ラグビーフットボール		6	6
29	スポーツクライミング		5	5
30	銃剣道		2	2
31	スケート		0	0
32	クレール射撃		0	0
33	空手道		5	5
34	スキー		5	5
35	アーチェリー		6	6
36	カヌー		6	6
37	ボウリング		1	1
38	なぎなた		5	5
39	アイスホッケー		2	2
40	ゴルフ		0	0
41	トライアスロン		0	0
合 計				160

佐賀県トップコーチ認定（案）

【トップコーチ】 22名

NO	競技名	氏名	所属
1	水泳	(競泳) 阿 世 賀 紀 光	佐賀学園高等学校
2		(飛込) 原 口 進 也	佐賀県立盲学校
3	陸上	丸 小 野 仁 之	佐賀県立佐賀工業高等学校
4	ホッケー	仙 名 洋 一	佐賀県立伊万里特別支援学校
5	ボクシング	前 田 真 一	佐賀県立高志館高等学校
6	体操	(競技) 龍 富 貴 夫	佐賀県立鳥栖高等学校
7		(新体操) 中 山 智 浩	佐賀県立神埼清明高等学校
8	レスリング	小 柴 健 二	佐賀県立鳥栖工業高等学校
9	自転車	江 田 弘	佐賀県自転車競技連盟
10	馬術	古 賀 勝 己	ホースランドひがしせふり
11	柔道	原 田 堅 一	佐賀県立佐賀工業高等学校
12	ソフトボール	津 上 さ お り	佐賀女子高等学校
13	フェンシング	野 本 尚 子	佐賀県立佐賀商業高等学校
14	ライフル射撃	姉 川 新	唐津県税事務所
15	剣道	八 坂 嘉 博	佐賀県立三養基高等学校
16	ラグビーフットボール	小 城 博	佐賀県教育委員会保健体育課
17	スポーツクライミング	樋 口 義 朗	佐賀県立多久高等学校
18	銃剣道	河 合 大 地	自衛隊佐賀地方協力本部
19	アーチェリー	打 越 大 輔	佐賀県立唐津東高等学校・唐津東中学校
20	カヌー	園 田 里 志	佐賀県立中原特別支援学校
21	ボウリング	北 古 賀 孝 夫	株式会社エイ・ティ・ジー
22	なぎなた	野 口 み や 子	佐賀県立ろう学校

